

特62-24



1200800264216



始



版 權 免 許

大島細吉編輯

改正
增補
新撰書式文格

京都
雕雲堂藏版

例條

一文辭ノ世間ニ欠クベカラザル。猶ホ人ノ飲食
 ヲ需テ。其生ヲ遂ル如シ。人飲食ナケレバ。必ズ
 其生ヲ絶ツ。世文辭ナケレバ。事業ヲ達スル能
 ハズ。蓋シ語ニ古今アリ。辭ニ新旧アリ。豈古ニ
 泥ミ。今ヲ忽ニス可ケンヤ。維新以來。奎運劇興

ニ隨ヒ公私ノ書式一軌ヲ履ミ况ヲ削リ繁ヲ
芟リ詞句逸雅ニメ務テ單簡ヲ以テ上下ノ間
ニ行ナハル宜シク其迹ヲ踐ミ其例ヲ釋不行
文ノ程式ヲ誤マルベカラズ此レ茲編ノ出ル
所以ナリ援筆者此ニ由テ其用ヲ辨セバ往ク
攸トメ窒礙ノ患ナク運情串通シ彼我感通シ

テ如意満足ナラン。

一本條ハ類ヲ彙ノ部ヲ分チ廣ク官府ノ諸願届
及ビ民間普通信約証票ノ例案ヲ洩サズ項列
シ以テ應用ノ副急ニ供ス。

一上格ニハ刑事民事訴訟ノ手續ヲ次第ニ開舉
シテ遺脱ナキヲ期ス庶クハ蒙昧輩馳ノ患ヲ

免^{マカ}シ^ン。

明治十六年十二月

編纂者述記

審判手續目錄

第一章

○告訴告発起 初^丁ラ

訴及令状

自第三條
至三十條

○口訴調書

ノ式 七^丁ラ

○証書 八^丁ウ

○召喚人名

新撰書式文格目錄

第一章

營業ニ關係スル願届

○商社創立御願 初^丁ラ

○米穀商會創立御願 二^丁ラ

○商店創業御願 三^丁ウ

○行商御鑑札御願 四^丁ウ

○他國出稼御願 全^丁ウ

○醫術試験御願 五^丁ウ

行

目

一

簿ノ式	十丁	○醫師履歷書	六丁
○召喚状ノ式	全丁	○醫術開業願	七丁
○送致書式	十三丁	○産婆入學願	九丁
○勾引状ノ式	十四丁	○俳優業御鑑札御願	全丁
○勾留状ノ式	十六丁	○藝妓縁御鑑札御願	十二丁
○送致書	十八丁	○娼妓營業御願	十三丁
		○藝娼妓出稼願	十七丁
		○轉居御鑑札書換御願	十九丁
		○止宿御願	二十丁

○別紙目録ノ式	十九丁	○支店分家願	廿一丁
○囑託書ノ式	二十丁	○藥舖分家開店御願	廿五丁
○受取書ノ式	廿二丁	○賣藥檢查御願	廿七丁
○勾引人名錄式	全丁	○賣藥改正御願	廿九丁
○勾留人名		○賣藥請賣御願	三十二丁
		○賣藥營業鑑札讓渡御願	三十四丁
		○賣藥營業滿期書換御願	三十七丁
		○賣藥營業鑑札減賣請賣	全
		○鑑札遺失三付書換御願	三十八丁

新撰書式文格

目録

録ノ式	三三丁ウ	○賣藥請賣約定書	三十九丁ウ
○収監人名		○牛馬賣買免許鑑札御願	四十丁ウ
録ノ式	三四丁ウ	○耕牛雜市御願	四十一丁ウ
○搜索調書		○車御檢印御願	四十三丁ウ
ノ式	三六丁ウ	○車御檢印押換願	全
○人相書ヲ		○車讓換御願	四十四丁ウ
以テ檢事		○車御檢印返納願	四十八丁ウ
ハ照會ス		○漁船檢印御願	全
ル書式	三八丁ウ	○川舟御檢印御願	四十九丁ウ

○人相書ノ		○海船檢印返上願	四十九丁ウ
式	三八丁ウ	○川船讓換御願	全
○通知書ノ		○船旗御届	五十丁ウ
式	三十三丁ウ	○出帆願書	五十一丁ウ
○囑託書ノ		○入港願	五十六丁ウ
式	三十三丁ウ	○碇泊願書	五十七丁ウ
○言渡書ノ		○其二	六十丁ウ
式	三十三丁ウ	○船荷物送状ノ記	六十二丁ウ
○訊問ノ事		○水先人試驗御願	六十四丁ウ

新撰書式文格
目録
三

ヲ囑託ス	六十五丁ヲ
ル書式	六十八丁ヲ
○收監状ノ	六十九丁ヲ
式	七十丁ヲ
○受書ノ式	七十二丁ヲ
○拘留状收	七十四丁ヲ
監状ヲ取	七十六丁ヲ
消ス言渡	七十九丁ヲ
書ノ式	八十丁ヲ
○外國博覽會出品御願	六十五丁ヲ
○貿易品賣込御届	六十八丁ヲ
○貿易買取御届	六十九丁ヲ
○家私塾開業願	七十丁ヲ
○私立病院説立御願	七十二丁ヲ
○涼淨瑠璃開業願	七十四丁ヲ
○清酒釀造石高免許願	七十六丁ヲ
○清酒濁酒釀造開業願	七十九丁ヲ
○同器械讓渡願	八十丁ヲ

○監倉長ニ
通知スル
書ノ式

第二章

○密室監禁
自三十一條
至三十三條
密室監禁
録ノ式

○新聞紙發行御願	八十一丁ヲ
○他國出稼願	八十二丁ヲ
○郵便印紙賣捌願	八十三丁ヲ
○訴訟用罫紙賣捌願	八十五丁ヲ
○小道具商賣御鑑札御願	八十六丁ヲ
○家根看板御願	八十七丁ヲ
○フアラフ新建御願	八十八丁ヲ
○公園地拜借出シ店御願	八十九丁ヲ
○官地拜借出店願	九十丁ヲ

言渡書ノ
式
監倉長へ
通知スル
書式

○橋上拜借御願 九十丁ウ
○陸軍省所轄地家屋
拜借御願 九十一丁ウ
○川中拜借御願 九十二丁ヲ
○社寺境内借地御願 九十三丁ヲ
○其二 九十七丁ヲ
○山林御拂下願 九十八丁ウ
○山林御下入札ノ式 百一丁ウ
○營業鑑札御願 百二丁ウ

第三章

○証 據
自三十四條
至三十六條

第四章

○被告人ノ訊問及ヒ對質
自三十七條
至四十一條
○被告人調書ノ式
○呼出狀ノ式
○通事命令書ノ式

○増渡世御願 百三丁ヲ
○諸酒類請賣營業願 全丁ウ
○牛乳賣捌御願 百四丁ウ
○獵銃免許鑑札願 百五丁ヲ
○魚鳥問屋仲買開業願 百六丁ヲ
○同鑑札書換板船檢印御願 百七丁ヲ
○質屋並古着商開業願 全丁ウ
○煙草御賣小賣營業願 百八丁ウ
○證券印紙賣捌所願 百九丁ヲ

○宣誓書ノ

式

六十一丁

○被告人ト

他ノ被告

人証人等

ヲ對質ス

ル調書ノ

式

六十二丁

第二章

戸籍ニ關係スル願届

○縁組御願 百十丁

○送籍御願 全丁

○出生産御願 百十一丁

○私生子分婉御届 百十二丁

○離縁御届 百十三丁

○貸座敷劇場茶屋待合 百九丁

茶屋揚弓場渡世御願

第五章

○檢証及ヒ物

件差押

六十三丁

自甲二條
至辛二條

○檢証調書

ノ式

六十四丁

○臨時搜索

ヲ治安判

事ニ囑託

スル書式

六十五丁

○復籍御願 百十四丁

○養子解縁御届 百十五丁

○寄留送籍御届 百十七丁

○寄留券御願 百十八丁

○旅行御届 全丁

○寄留人出立届 全

○帰宅御届 百二十丁

○學業寄留御届 全丁

○止宿御届 百廿一丁

○受取証書 ノ式	百廿二丁ヲ	○家出人御届	百廿二丁ヲ
○照會書ノ 式	百廿三丁ヲ	○逃亡人立帰御届	百廿三丁ヲ
第六章	百廿四丁ヲ	○送籍類一例	百廿四丁ヲ
○証人訊問 自五三條 至七十二條	百廿五丁ヲ	○死去御届	百廿五丁ヲ
○送達書ノ 式	百廿六丁ヲ	○死去報告	百廿六丁ヲ
		○寄留人病死御届	百廿六丁ヲ
		○變死御届	百廿八丁ヲ
		○變死人檢査ノ報告	百廿九丁ヲ
		○附籍人送籍御願	百三十丁ヲ

○呼出狀送 達ノ事ヲ 囑託スル 書式	百三十二丁ヲ	○一泊御届	百三十二丁ヲ
○罰金言渡 書ノ式	百三十三丁ヲ	○雇入人御届	百三十三丁ヲ
○罰金言渡 ヲ取消ス 言渡書	百三十四丁ヲ	○棄兒拾揚御届	百三十三丁ヲ
		○横死人御届	百三十四丁ヲ
		○斃者御届	百三十六丁ヲ
		○出奔御届	百三十七丁ヲ
		○出奔人六ヶ月目御届	百三十八丁ヲ
		○家出御届一例	百三十九丁ヲ
		○家出人立帰入籍御願	百四十二丁ヲ

式	全書	○自滅人御届	百四十二丁ウ
○参考人調		○變死人御届一例	百四十三丁ヲ
書ノ式	全六丁	○弱死御届	百四十四丁ヲ
○証人宣誓		○嗣子替御届	百四十八丁ヲ
ヲ肯セス		○養子差遣度御願書	百四十九丁ヲ
又ハ宣誓		○養子女御届	百五十丁ヲ
ヲ為シテ		○家督相續御願	百五十二丁ヲ
陳述ヲ肯		○家名ヲ廢シ他家へ	百五十三丁ヲ
ゼザルト		養子ノ御願	

キ罰金ヲ		○亡跡家督相續御願	百五十三丁ウ
言渡入書		○亡跡養子或ハ相續	
式	全五丁	人御届	百五十四丁ウ
○同行スル		○絶家相續願	百五十五丁ウ
丁ヲ肯セ		○入夫へ家督讓渡ノ願	百五十七丁ヲ
ガル片言		○婦女家督相續御願	百五十八丁ヲ
渡罰金ノ		○家督再相續御願	百六十丁ウ
書式	全三丁	○家督再相續人稱呼	百六十二丁ヲ
○証人調書		○長男ヲ除キニ女へ入夫御願	百六十丁ウ

行集

目録

ノ式	九十五丁
○言渡ノ書	
式	九十六丁
○受取證ノ	
式	九十七丁
第七章	
○鑑 定	百丁
自七十三條 至八十條	
第八章	

○家出人ノ跡相續御願	百六十五丁
○家督相續人改名御願	百六十六丁
○貫属 替 御 届	百六十八丁
○合 家 御 願	百七十丁
○分 家 御 願	百七十二丁
○士族平民籍ニ編入御願	全 丁
○家出人ノ <small>養子 離編御願</small>	百七十四丁
○後家再縁付御願	百七十六丁
○懲役人及流人 <small>養子及妻離</small>	百七十七丁

○現行犯ノ豫	
審	百五丁
自八十一條 至八十八條	
○豫審判事	
ヨリ檢事	
へ通知書	
ノ式	百六丁
○送致書ノ	
式	百六丁

○解 縁 願	百七十八丁
○同名差支ニ付改名御願	百七十九丁
○縁組送籍御願	百八十丁
○養女送籍御願	全 丁
○送籍御下ケ渡願	百八十二丁
○送籍證御證印願	全
○同 其 二 全 丁	
○同 其 三 百八十二丁	
○送籍之証	全 丁

○勾留状ヲ	百八十三丁ウ
解クノ言	百八十四丁ヲ
渡書式	百八十五丁ヲ
第九章	
○保釋	百八十六丁ヲ
自八十九條 至九十七條	
○保釈證書	百八十七丁ヲ
ノ式	全丁
○保釈言渡	
○同請取之事	百八十三丁ウ
○帰俗御願	百八十四丁ヲ
○同其	全丁ウ
○復籍還俗御願	百八十五丁ヲ
○合寺御願	百八十六丁ヲ
○寺院住職進退御願	百八十七丁ヲ
第三章	
土地ニ関スル願届	
○家督讓受 <small>山林耕畑 藪墓家敷</small>	

書ノ式	百八十七丁ウ
○監倉へ通	
知書ノ式	百八十八丁ウ
○保釈書ノ式	百八十九丁ウ
式	百九十丁ウ
○保釈金没	
入並ニ保	
釈取消ノ	
言渡書式	百九十一丁ヲ
○同	百九十二丁ヲ
○通	全丁ウ
○借區開坑願	百九十三丁ヲ
○水損地免稅ノ御願	全丁ウ
○荒地開墾願	百九十四丁ウ
○荒地鋤下願	百九十五丁ウ
○同	全丁ウ
○同	百九十六丁ウ
○同	百九十七丁ウ
○同	百九十八丁ウ
○同	百九十九丁ウ
○同	全丁ウ
○同	百九十九丁ウ

新撰書式文格

○保釈ヲ取 消入言渡 ノ書式 ○受書ノ式 百九十八條 至百一十條 ○檢事ハ照 會ノ書式	百丁 百丁 百丁 百丁 百丁	○試堀 ○同 ○堤防 ○道路 ○道路 ○溝修繕 ○牛馬留札御下渡御願 ○道路修覆成就御届 ○新規建家	願 二 願 願 願 願 願 願 願	百九十四丁ウ 全丁ウ 百九十六丁ウ 百九十八丁ウ 百九十九丁ウ 二百丁ウ 全丁ウ 二百一丁ウ 二百二丁ウ
--	----------------------------	--	---	--

○豫審判事 檢事ノ請 求ニ背セ ガル片廻 答書ノ式 ○被告人ノ 陳述書又 ハ豫審終 結ノ言渡	百丁 百丁 百丁 百丁 百丁	○借家新築御願 ○社修繕御願 ○繕普請御願 ○板園 ○硝子燈新建御願 ○足代御願 ○硝子燈建替御願 ○官有地并借願 ○同	願 願 願 願 願 願 願 願 願 願	二百三丁ウ 全 二百四丁ウ 二百五丁ウ 二百六丁ウ 全丁ウ 二百七丁ウ 二百八丁ウ 二百九丁ウ
--	----------------------------	--	--	---

新撰書式文格

目錄

十一

書又ハ裁
判言渡書
ノ勝手ノ
式
○被告事件
管轄ニ在
ラザルヲ
ヲ認メタ
ル片ノ言

○土砂石瓦材木置場御願 二百十丁ヲ
○耕境内伐木御願 二百十二丁ヲ
○寸尺帳雛形 全丁ヲ
○部分木榎付御願 二百十二丁ヲ
○官有地拂下願 二百十三丁ヲ
○山林御拂下入札 二百十五丁ヲ
○明細書凡例 二百十八丁ヲ
○土地家屋拜借 二百十八丁ヲ
○製圖凡例 二百二十丁ヲ

渡書ノ式 百三十一
○又ハ其証
憑充分為
ラザル片
免訴ノ言
渡書式 百三十二

○濱地生樹伐株御願 二百廿三丁ヲ
○道路修覆金寄附御願 二百廿三丁ヲ
○土木請負 全丁ヲ
○試堀並ニ御願 二百廿五丁ヲ
○借區開坑御願 二百廿五丁ヲ
○墓地購求願 二百廿六丁ヲ

第四章
諸證券之文例
○無利息借用金之証 二百廿七丁ヲ
○金子借用ノ証 二百廿八丁ヲ

書式 ○輕罪裁判 所へ移ス ノ言渡書 ノ式 百三十五丁	○無利息預リ金之証 二百廿八丁ウ
○重罪裁判 所へ移ス ノ言渡書 式 百三十六丁	○年賦借用金之証 二百廿三丁ウ
	○諸物品抵當金子借用ノ証 二百廿四丁ウ
	○証券抵當金子借用証 二百廿五丁ウ
	○印紙貼用證文引當 金子借用証 二百廿六丁ウ
	○秋成引當金子借用券 二百廿七丁ウ
	○正米貸借證文 二百廿八丁ウ
	○利息附穀物貸借之証 二百廿九丁ウ

○豫審終結 ヲ裁判所 長ニ報告 スル書式 百三十七丁	○講金借用之証 二百三十九丁ウ
第十一章 ○豫審上訴 自百三十二條 至百三十三條 ○故障ノ判 決書式 百三十八丁ウ	○雜穀貸借之証 二百四十丁ウ
	○宅地借用之証 二百四十一丁ウ
	○田畑地借用之証 二百四十二丁ウ
	○田畑小作之証券 二百四十三丁ウ
	○田土質入之証 二百四十四丁ウ
	○耕地質入之証 二百四十七丁ウ
	○田畑質物之証 二百四十八丁ウ
	○田地質流之証 二百四十九丁ウ

○趣意書ノ
紙尾ニ記
載スル書
式
百六丁ウ

○忌避ノ故
障ニ付會
議局ニ於
テ判決ス
ル書式
百六丁ウ

○書記ヨリ
百六丁ウ

○田地書入之証 二百五二丁ヲ

○耕地賣渡之証 二百五二丁ヲ

○田畑賣渡之証 二百五三丁ヲ

○地所書入之証 全 丁ウ

○屋敷地賣渡之証 二百五五丁ウ

○地所賣買ノ手續得意 二百五六丁ウ

○建物賣渡之証 二百五七丁ヲ

○建物賣買讓渡規則 二百五九丁ウ

○公債証書賣渡之証 二百六二丁ウ

○對手人へ
通知スル
書式
百六丁ウ

○判決書式
百六丁ウ

○豫審報告
書ノ式
百六丁ウ

○故障ト共
ニ判決ス
ル書式
百六丁ウ

○豫審上訴
百六丁ウ

○公債証書々換ニ係ル
委任狀書式 二百六三丁ウ

○公債証書御買上願 二百六四丁ヲ

○公債証書類賣買証文 全 丁ウ

○建家借家証書 二百六五丁ウ

○家屋敷賃入之証 二百六七丁ウ

○地所賃入之証券 二百六九丁ヲ

○地所賃入年限心得 二百七十一ヲ

○賃入地券預リ証 二百七十二ヲ

新撰書式文格

目錄

十一

ニ付受理
ス可キヤ
否ヲ判決
スル書式 百六丁ウ

○檢事ノ起
訴ヲ許ス
可キヤ否
ヲ判決ス
ル書式

○何船質物之証書 二百七十一丁ウ

○建物書入質之証 二百七十二丁ウ

○二重書入之証 二百七十六丁ウ

○流地証文ノ事 二百七十七丁ウ

○並合証文之例 二百七十八丁ウ

○物品讓與証 二百七十九丁ウ

○動産物賣渡証文之事 二百八十丁ウ

○地券預リ証 二百八十二丁ウ

○預金証券之事 二百八十二丁ウ

第十二章

○枉罪公判 百五丁ウ
自百三十四條
至百九條

○公判件數
録ノ式 百二丁ウ

○傍聴ヲ禁
スル言渡
ノ書式 百三丁ウ

○辯護人ヲ
用ルノ届
書式 百八丁ウ

○諸敷金預リ証 二百八十三丁ウ

○賣預之証書 全丁ウ

○金穀預証券之心得 二百八十五丁ウ

○加利息預金之証 二百八十六丁ウ

○賣上証文 二百八十七丁ウ

○手附金請取之証 二百八十八丁ウ

○桑樹賣渡之証 全丁ウ

○商品買取約條証 二百八十九丁ウ

○商品約定為取換之証 二百九十丁ウ

○判決書式 百九十一丁ヲ
 ○對手人呼出状ノ式 百九十二丁ヲ
 ○豫審判事ニ送付スルノ言渡書式 百九十三丁ヲ
 ○管轄違言渡書ノ式 百九十四丁ヲ
 ○棄却スル

○賣買為取換約定書 三百九十五丁ヲ
 ○商品為替手形 全 丁ウ
 ○商法利益金分配之証 三百九十六丁ヲ
 ○為替手形書式 三百九十七丁ヲ
 ○同 其 全 丁ウ
 ○枝手形之 事 三百九十八丁ヲ
 ○荷物為替手形 全 丁ウ
 ○荷為替送り状ノ 事 三百九十九丁ヲ
 ○陸荷送り状 全 丁ウ

言渡書ノ式 全 丁ウ
 ○調書ヲ作リタル司法警察官ヲ呼出ス書式 三百丁ヲ
 ○調書ヲ作リタル豫審判事ヲ

○水運送状 三百九十六丁ヲ
 ○動産物預り証券 全 丁ウ
 ○利益金割合約定ノ式 三百九十七丁ヲ
 ○配分金受取之証 全 丁ウ
 ○會社金証 三百九十八丁ヲ
 ○會社加入金手形 三百九十九丁ヲ
 ○利足附商社入金ノ手形 全 丁ウ
 ○割賦返済手形 三百丁ヲ

新撰書式文様

目録

呼出入式	三百一丁ヲ
○罰金科料	
金ヲ言渡	
書式	三百二丁ヲ
○科料又ハ	
罰金ノ言	
渡ヲ取消	
ス言渡書	
ノ式	三百六丁ヲ
○証人再度	
ノ式	三百七丁ヲ
○分	散 一 札 三百一丁ヲ
○商物賣渡ノ後一時	
預	証 書 三百二丁ヲ
無頼母子	盡 講 金 受 取 証 全 丁ヲ
○飯食物類ノ切手	三百三丁ヲ
○商品賣預切手	三百四丁ヲ
○官費工作請負証書	三百五丁ヲ
○普請ニ付御請書	三百六丁ヲ
○官物御拂下約定金上納證	三百七丁ヲ

ノ呼出ニ	
應ゼサル	
片料料罰	
金ノ言渡	
書式	三百九丁ヲ
○異議ノ申	
立ニ付判	
決書ノ式	三百十丁ヲ
○免訴言渡	
書式	三百十一丁ヲ
○盜火難紛失新券請取書	三百八丁ヲ
○新券請取	一 例 全 丁ヲ
○送籍受取書	式 三百九丁ヲ
○出稼証書	之 式 三百十丁ヲ
○詔	入 一 札 三百十一丁ヲ
○共有ノ約ニテ婦ノ持参	
スル財産請取証	全 丁ヲ
○夫婦共有ニ非ラサル財	
産ヲ持参シタル時ノ請	

新撰書式文様

目録

○無罪ノ言 渡書式 ○輕罪裁判 所ニ於テ 違警罪ヲ 裁決スル 言渡書式 ○管轄違ノ 言渡ヲ為 入書式	三百 十丁 ヲ	取 証	○女房敷金手形之証 人事ニ關係スル証券 ○養子一札差入申証 ○實親之証差入申証 ○養女一札差入申証 ○實父之証 ○跡式讓狀之証 ○預リ子養育ノ証	三百十二丁 ヲ 三百十三丁 ヲ 三百十四丁 ヲ 全 丁 ウ 三百十五丁 ヲ 三百十六丁 ヲ 全 丁 ウ 三百十七丁 ヲ
---	---------------	--------	---	--

○管轄裁判 所ニ送付 スルノ言 渡書式 ○管轄違ノ 言渡ヲ為 入書式 ○公訴ノ裁 判アリタ ル後私訴	三百 十丁 ヲ	○乳母雇請狀 ○雇人請狀 ○年季雇入請狀 ○金拾圓以上記載雇 人請狀之事 ○公私雇人身元引受 保証書式 ○亂問人預証書 ○委任狀	三百十八丁 ヲ 三百十九丁 ヲ 三百二十丁 ヲ 三百三十二丁 ヲ 三百三十三丁 ヲ 三百三十四丁 ヲ 全 丁 ウ
---	---------------	--	--

第五章

雜之部

ノ裁判ヲ	為入片ノ	言渡書式	○公判始末	書ノ式	○對手人へ 通知スル 書式	○違警罪控訴
三〇五丁ウ	三〇六丁ウ	三〇七丁ウ	三〇八丁ウ	三〇九丁ウ	三〇九丁ウ	三〇九丁ウ
○出版々推御願	○纏刻御届	○出版延期御届	○再版御届	○版權買受讓 受分板御届	○版權免許証裏書	○教題御届
三〇五丁ウ	三〇六丁ウ	三〇七丁ウ	三〇八丁ウ	三〇九丁ウ	三〇九丁ウ	三〇九丁ウ

ノ公判

三〇五丁ウ

自二百十條
至二百十九條

○原裁判ヲ

認可スル

言渡書式

三〇六丁ウ

○原裁判ヲ

取消シ更

ニ為ス裁

判言渡書

ノ式

三〇七丁ウ

○製本御届

三〇五丁ウ

○藏版持轉御届

三〇六丁ウ

○同 其二

三〇七丁ウ

○版權免許証返納御願

三〇八丁ウ

○版權免許料納方書式

三〇九丁ウ

○版權免許状返納手

三〇九丁ウ

○數料納方書式

三〇九丁ウ

○納本漆書

三〇九丁ウ

○新聞紙雜紙發行願

三〇九丁ウ

新撰書式文様

第十四章

○重罪公判其陪席及ヒ書

記ノ手續

○被告人ヲ訊問シタル調書式

○再審ノ訴

○何新聞改題願

○何新聞記載ノ種日變更願

○何新聞讓渡願

○何新聞刷行定期變更願

○何新聞發行所變更願

○何新聞編輯人變更願

○何新聞發行屆

三百四十九丁

三百五十一丁

三百五十二丁

三百五十三丁

三百五十四丁

三百五十五丁

三百五十六丁

三百五十七丁

三百五十八丁

三百五十九丁

第十六章

○公安又ハ嫌疑ノ為メ裁判管轄ヲ移スノ訴

○何新聞休業願

○徵兵各自届之書式

○國民軍入籍之届書式

○罷称者之届書式

○古物商免許鑑札願

○同行商鑑札願及書換願

○同廢業及物品運送届

○醫師診斷書式

○徵兵ハ國民軍異動届

自三百四十八條至三百五十二條

自三百五十三條至三百五十九條

自三百六十條至三百六十七條

自三百六十八條至三百七十四條

自三百七十五條至三百八十一條

自三百八十二條至三百八十八條

自三百八十九條至三百九十五條

自三百九十六條至四百零二條

自四百零三條至四百零九條

自四百一十條至四百一十六條

自四百一十七條至四百二十三條

新撰書式文様

目錄

三

○疑義ノ申

立ヲ為シ

タル牒判

決スル書

式

第十八章

○復権及ヒ特

赦

自二百八條
至二百七十五條

審判手續 大尾

○軍人轉籍届書式

三百六十二ウ

○軍人兵籍送願書式

三百六十三ウ

○軍人結婚願

全 丁ウ

○身元証

三百六十四ウ

○婚姻濟御届

三百六十五ウ

○教導團入學御願

三百六十六ウ

○同履歷書

三百六十七ウ

○戸籍明細書

三百六十八ウ

○士官學校生徒入學願

三百六十九ウ

民事訴訟手續

第一章

○民事裁判所

権限 二百三十一ウ

第二章

○訴答手續

二百三十二ウ

第一章

○訴答文例

二百三十三ウ

第三章

○控訴上告手

○巡查志願

三百六十九ウ

○巡查奉職受書

三百七十ウ

○代言言願

三百七十一ウ

○同履歷書

全 丁ウ

○代言引續御願

三百七十二ウ

○寺院住職進退願

三百七十三ウ

○同履歷書

全 丁ウ

○住職解免願

三百七十四ウ

○公債證書替願

全 丁ウ

續 八十六丁

第四章 出訴期限 三十三丁

第五章 訴訟入費償却規則 三十三丁

第六章 訴訟用昇紙規則 三十三丁

第七章

○公債証書讓渡ニ付檢印 御 願 三百七十五丁

○公債証書御引替金並ニ年々利子持受之儀 御 願 三百七十九丁

○公債証書御買上願 三百七十六丁

○貯金預リ御願 三百六十七丁

○差入物御願 三百八十四丁

○水車營業御願 三百八十二丁

○地所質入書入規則 九十三丁

第八章 土地賣買讓渡規則 七十三丁

第九章 土地分割取投手續 三十三丁

第十章 利息制限法 四十四丁

○足代之願 三百八十三丁

○家作成功板圍取拂願 全 丁

○物品献上御願 三百八十三丁

○金御願 全 丁

○拾物御願 三百八十四丁

○盜難御願 全 丁

○遺失物願 三百八十五丁

○改印 願 全

○實印新調 願 三百八十六丁

第十一章

○証券印紙規

則

○民事訴訟

用印紙規則

○訴訟用印紙ノ

種類

○古物商取締

條例

四百六丁ウ

四百六丁ウ

四百六丁ウ

全丁ウ

○孝子 届 三百八十六丁ウ

○節婦 御 届 三百八十七丁ウ

○小學校 入校 願 届 三百八十八丁ウ

○學校 不参 届 三百八十九丁ウ

○退校 御 願 全 丁ウ

○外國人 雇入 届 三百九十丁ウ

○轉櫃 寺務 御 届 三百九十二丁ウ

○改宗 届 全

○葬式 改行 届 全 丁ウ

○癘疾 救助 願 三百九十三丁ウ

○困窮人 救助 願 三百九十四丁ウ

○村民 救助 願 全 丁ウ

○出火 御 届 三百九十五丁ウ

○燒失家 建並ニ失家

之 手 續 全 丁ウ

○說教 會座 御 届 三百九十六丁ウ

○遊藝 藝古 漫御 届 全 丁ウ

○勸進 相摸 興行 御 願 三百九十七丁ウ

- 借地興行物願 三百九十七丁ウ
- 軍談興御願 三百九十八丁ヲ
- 小屋掛興行願 全 丁ウ
- 定席興行御願 三百九十九丁ウ
- 裁判所門入届書 四百丁ヲ
- 勸解代人ヲ出入時ノ書式 全
- 何々勸解濟口御届 全 丁ウ
- 何々勸解濟口延期御願 四百一丁ウ
- 何々勸解御下書 四百二丁ヲ

- 勸解願不調之節請書 全 丁ウ
- 證據物被告人ヲ差出
シ候願下ケノ式 四百三丁ヲ
- 訴状表紙之書式 自三百三十五丁ウ
至三百四十六丁ウ
- 裁判停上御請書式 四百六丁ヲ
- 控訴御届 全 丁ウ
- 身代限揭示書受取 四百七丁ヲ
- 同財産難賣又ハ拂ヒ
入札 全 丁ウ
- 揭示書受取 全 丁ウ

○差上申御請書之式 四百八丁ヲ

第六章

○諸心得之部 自四百八丁ウ 至四百五十六丁ヲ

目録終

目録終

審判手續

第一章

告訴告発起訴及ヒ

令狀

第一條

重罪輕罪

違警罪ニ因リ損害

ヲ受ケタルモノ告

訴ヲ為ナントスル

并ハ其證據及ヒ事

實參考トナル可キ

新撰書式文格

大島細吉 編輯

第一章

營業ニ關係スル願届

○商社創立御願

一今般私共何名申合セ何縣下何國

何郡何町何番地何某宅ニ於テ何社

ト稱ヘ何商品發賣仕度候間御允可

了ヲ記載シ署名捺
印シタル告訴狀ヲ
以テ左ノ所ヘ告訴
スルヲ得
(治罪法第
九十三條)
一重罪輕罪ハ其犯
罪ノ地若クハ被告
人所在ノ地ノ豫審
判事檢事又ハ司法
警察官

相成度別紙商社規則相添此段奉願
候也

年月日

住所身分

頭取 氏名 印

社長 氏名 印

前書之通願出度旨申出候ニ付奥
印仕候也

戸長 氏名 印

地方長官宛

別紙商社規則書ハ臨機取極メ本書

ニ差添可シ

○米穀商會創立御願

一豫而御頒布相成候米商會所條例
ノ旨意ニ基キ凡ソ下條ノ目的ニ準
據シ協同結社米穀商會所ヲ創立シ
營業致度候ニ付右創立御許可被成
下度依テ別紙創立証書并ニ申合せ
規則共相添此段奉願候也

二違警罪ハ犯罪ノ
地ノ違警罪裁判所
檢察官又ハ司法警
察官

第二條 何人ニ限

ラス重罪輕罪アル
了ヲ認知シタルカ
又ハ之レ等ノ事ア
リト思料シタル片
ハ前條ノ手續ヲ以

テ告發スルコトヲ得

(治罪法第
九十七條)

又告訴告發ハ口述

ニテ為スコトヲ得

(治罪法第
九十五條)

第三條

代理人ニ委任シテ

之レヲ為スコトヲ得

又無能力者ノ告訴

ハ法律ニ定メタル

何府縣下

一 創立場

何町

一 戸數

何万軒

一 賦地費消米

何百万石

一 全產出米

何十万石

一 輸入米

全

内譯

高米凡何部

何部何湊ヨリ輸出

代理人之レヲ為スモ

其効アリトス

(治罪法第
九十八條)

第四條

ハ其願下ヲ為シ又

ハ其申立タル事ヲ

變更スルヲ得但シ

被告人之レニ付キ

損害ヲ受ケタルハ

ハ其要價ノ訴ヲ為

全

全

輸出

一米商人

何百人

一 賣買取引米凡積

何千万石

右現今實況及ヒ將來賣買取引ノ見

込共書面ノ通ヒ御座候以上

年月日

発記人

氏名印

住所身分

スリアル可シ

(治罪法第
九十九條)

第五條

被害者公

訴ニ附帶シテ私訴

ヲ為サントスル片

ハ告訴ト共ニ之レ

ヲ申立又ハ告訴ヲ

為シタル後其旨ヲ

豫審判事ニ申立ツ

ル丁ヲ得

(但シ全志ノ者ハ何名ニテモ住所身
分氏名等登記人ニ目シ)

(云々前二目シ)

戸長 氏名 印

地方長官宛

○商店創業御願

一私儀今般於私宅或ハ町何番地何々職商
開業御賣仕度候間御鑑札御下附被
下度尤モ御規則堅ク相守可申此般

(治罪法第
百十條)

第六條

被害者ハ

公訴ノ本案ニ付キ

始審終審ノ裁判言

渡アルマデ何時ニ

テモ私訴ヲ為シ若

シクバ其要ムル所

ヲ変更スルコトヲ得

(治罪法第
百十一條)

奉願上候也

年月日

住所身分

氏名 印

取締 氏名 印

戸長 氏名 印

地方長官宛

○行商御鑑札御願

一私從來御願濟何々小賣商業之者
二候處今般行商仕度候間右御鑑札

又私訴ノ願下ヲ為シタル後更ニ其申立ヲ為シ若クハ其要ムル所ヲ變更スルコトヲ得

第七條 被害者ハ代人ニ委任シテ前條ノ私訴ヲ為シ又ハ其願下若クハ棄權スルコトヲ得

幾枚御下附奉願候也

住所身分

年月日

氏名印
戸長 氏名印

地方長官宛

○他國出稼御願

住所身分

何商 氏名

一私儀今度為商法出稼何縣下何國

被害者無能力ナル片ハ法律ニ定メタル代人之レヲ為スモノトス

治罪法第百十二條

第八條 第一條第二條第三條ノ告訴告發狀及ビ付屬ノ書類物件等ハ其裁判所ノ書記之レヲ

何郡何町へ當何年何月ヨリ來ル何年何月迄凡何ケ年ノ間出稼仕度候ニ付住所身分何ノ誰保証仕候尤モ私儀現今訴訟掛合且其他諸事故等一切無之候間此段御聞濟被成下度奉願候也

住所身分

年月日

願人 氏名印

新撰書式文様

受取り順次番号ヲ

告訴告発状ニ付シ

左ノ如ク一件袋ヲ

作り班数表ニ照シ

テ之レヲ豫審判事

ニ分賦ス若シ差支

アルハ判事補ニ

分賦ス

豫審判事之レヲ受

取りタル后其訴件

保証人 氏名印

戸長 氏名印

何郡長宛

○醫術試験御願

豫テ内務省ヨリ御布達相成候旨ヲ

奉ジ別紙履歴相添差出候間御試験

之上免狀御下ケ渡被下度此段奉願

上候也

ヲ分明ナラシムル
為メ書記ト立會ニ
テ告訴告発人ヲ訊
問スルコアリ
治罪法第百
四十七条

一件袋

第何号

何々事件

判事氏

被告人

住所 氏名

書記氏

住所身分

氏名印

戸長 氏名印

地方長官宛

新撰書式文様

第九條 口述ノ告

訴告発ヲ受ケタル
申ハ書記ノ立會ヲ
以テ左ノ調書ヲ作
リ告訴告発人ニ読
聞カセ豫審判事書
記並ニ告訴告発人
ト共ニ署名押印ス
私訴ノ口述モ亦之
レニ同シ

○醫師履歷書

住所身分

氏名
年齢

一何年何月ヨリ何年何月迄都合何
年間何縣何病院或ハ公私病院ニ從
ヒ藥理学、化学、解剖学、生理学、病理学
ヲ
修業ス

右之通相違無之候也

(年月氏名宛名共前二同シ)

(治罪法第三十七條第九十五條已下
第百十條)

口訴調書ノ式

何某ヨリ何某ニ對スル告訴調書

何縣何國何郡何町何村番地職業何ノ某ハ明治何年月日某裁判所ニ
出席シ當裁判所豫審判事ニ左ノ事件ヲ告訴告発セリ

一何縣何國何郡何町何村番地士族職業何某ナル者明治年月日午後何時

何番地ニ於テ何身分何府縣國郡區町村番地職業身分何某ニ對シ何々ノ
所業ヲ為シ何々ノ罪ヲ犯シタルニ付キ此般告訴ス

一何某カ前文ノ罪ヲ犯シタル証憑ハ何々又事實參考トナル可キ物

件ハ何々ナリ

右告訴人ニ読聞カセタル所其口述ニ毫毛相違之レナキ旨申立ツ依
テ本官等左ノ告訴人ト署名捺印スルモノ也
明治年月日何々裁判所ニ於テ

豫審判事

氏名印

書記

氏名印

告訴人

氏名印

第十條 告訴人民

事原告人ト為ルノ
申立ヲ為シタル場

○醫術開業願

今般何區何町何番地ニ於テ何科醫

合ニ於テ其裁判所

々在ノ地ニ住居セ

サルトキハ假住所

ヲ其地ニ定メ書記

局ニ届ケ置ク可シ

若シ届ケ出テサル

片ハ書類ヲ送達ナ

シト虽モ異議申

立ヲ為スルヲ得ス

治罪法第
二十一條

術開業仕度ニ付別紙内務省ノ免状

寫并ニ履歷書相添差出候間御許可

相成度此般奉願候也

追テ御許可ノ上ハ鑑札御下附相

願候也

住所身分

年月日

氏名印

醫務
取締

氏名印

戸長

氏名印

第十一條 告訴書

發ヲ受ケタル片ハ

書記左ノ如ク証書ヲ作り告訴告發人ニ下付ス

(治罪法第九十五條
同第九十七條)

証書

何住所職業身分何基ヨリ何住所職業身分何ノ基ニ對スル何々ノ
一件告訴ヲ受ケタル證トシテ之レヲ付與スルモノ也

明治年月日何裁判所ニ於テ

地方長官宛

豫審判事

書記

氏名 印

氏名 印

第十二條 豫審判

事被告人ヲ訊問ス
可ト思料シタル片

ハ

(治罪法第九十三
條同第一百十四條)

被告人ノ氏名等ヲ

左ニ示ス帳簿ニ登

記シ認印ノ上書記

ニ付入書記亦之レ

ニ認印シ日限ヲ期

○產婆入學願

私義產婆志願ニ付入學御許可相願
候也

年月日

住所身分

本人 氏名 印
何年何ヶ月

何病院御中

書面入學御許ノ上ハ御規則堅ク為
致遵奉候也

証人 氏名 印

行異書式ノ各

（被告人在所ノ）
里程ヲ量リ
タル召喚状ヲ作り
使下リシテ送達ノ
手順ヲ為サシム但
シ送達ト被告人出
廷トノ間一 猶
豫ヲ與フ

○俳優業御鑑札御願
一私義此度歌舞妓芝居俳優管業仕
度候ニ付上等御鑑札御下付被下成
度此段奉願候也
住所身分 氏名印
年月日
前書申出之通等級適當之者ニ付與
印仕候也
該業取締 氏名印

（治罪法第二十三
条同第百三十一
条）

召喚人名簿ノ式

戸長 氏名印
何郡長宛

年号月日

表紙 召喚人名簿

判事氏 書記氏

判事書記
何縣何國區何町番地

明治何年 職業身分
月日時 氏名
召喚ノ

右年号月日時發

使丁印

召喚状ノ式 (凡令状ハコト) 十五年丁第廿八号司法省達
通ヲ要ス

用紙美濃ノ類

召喚状

何所身方職業 氏名

右云々ノ事件ニ付訊問ノ筋有之何月日時當裁判所ニ出頭可致者也

明治 年 月

何裁判所 所之印

添審判事 氏名印
書記 氏名印

受取人ノ署名捺印若シ能ハサルハ	其事由	送達シタル月日時	送達シタル場所	親屬座人若シハ申長(度)シタルハ其事由

右之通取扱候也
明治 年 月 日
使丁 氏名印

是ヲ中断シテ一葉ヲ受取人へ渡シ

一葉ヲ書記局へ還納スヘシ

召喚状

何所身舎職業

右云々ノ事件ニ付訊問ノ筋有之何
月日時當裁判所ニ出頭可致者也

明治 年 月



何裁判所

豫審判事

書記

氏名印

氏名印

受取人ノ署名 名印若シ 能ハサル片ハ 其事由	送達シタル 月日時	送達シタル 場所	親屬雇人 若シ長ヘ 夜シタル片ハ 其事由	右之通取扱候也 明治 年 月 日 使丁 氏名印
---------------------------------	--------------	-------------	-------------------------------	-------------------------------

第十三條

召喚状

ヲ受テタ被告^{ヒコウク}人出
延スル片ハ左ノ手
続キヲ為シ出頭ノ
旨ヲ届出ツ可シ

書記ハ其届書ニ捺
印シテ之レヲ豫審
判事ニ告ク豫審判
事ハ即時ニ訊問ノ
手續キヲ為ス又遅

○藝妓稼御鑑札御願

住所身分
長ニ女
或姉妹
氏名
何年何ヶ月

右ハ今般藝妓稼仕度諸事御規則ノ
趣堅ク相守可申候間何等御鑑札御
下渡可被下候様奉願上候以上

年月日

本人 氏名印

クト七出廷ノ日ヲ
過クルヲ得ス
(治罪法第
百十八条)

父兄 氏名印
右取糺候処たれ真意ヨリ出願候義
ニ付奥印仕候也

何郡長宛

戸長 氏名印

差到届書ノ式

用紙

掛官氏 何縣何國何郡何町番地

半紙

身分職業 氏名

四切 何年何月日午前何時出頭

右着到書式ハ訴訟關係人證人鑑定人等皆之レニ同ジ但監獄ニ在
ル被告人ハ此ノ例ニアラス

其引續キ訊問ヲ為ス可キハ其事件ヲ檢事ニ送致スルヲ左ノ如シ
又引續キ訊問ヲ為ス可カラザルモノハ其旨ヲ被告人ニ通知ス
(治罪法第
百十四条)

送致書式

住所身分職業何某ヨリ何住所身分職業何某カ何々ノ罪ヲ犯シタル
旨告_テ及ヒタルニ依リ被告人何某召喚ノ上訊問候処引續キ取調

フ可キ者ト思料セシ條右ノ事件及送致候也

明治何年何月日

其裁判所

豫審判事

氏名印

何々裁判所
檢事氏名殿

第十四條

告訴告

発ノ事件急速ヲ要スル片ハ豫審判事直チニ被告人ニ對

○娼妓營業御願

一私夫婦永々ノ病氣殊ニ家族幾名相暮罷在困窮且夕ニ迫リ候然ニ幸

シ勾引状ヲ發シ又

ハ訊問シタル後勾

留状ヲ發スルノ左

ニ其式ヲ示ス

本條ノ場合ニハ豫

審判事ヨリ其旨ヲ

檢事ニ通知ス若シ

通知シタルヨリ一

日内ニ檢事ノ記評

アラサル片ハ速ニ

ヒ當年何歳ニ相成候妹某ト申者娼

妓營業為致共々ニ稼度本人モ承知

ニ付本年何月ヨリ凡ソ何ケ年ノ間

何區何町何番地席貸業何ノ誰方座

敷借受出稼仕聊成共積立金ヲ以往

々正路ノ渡世ニ基キ度右親類一統

得心之上此段奉願上候以上

住所身分

被告人ヲ放免シ其
旨ヲ告訴告發人ニ
通知ス但被告人ヲ
放免スルト虽モ後
日起訴ノ妨ゲト為
ルコトナカル可シ
(治罪法第
百十五条)

年月日

又 氏名印
本人 九 氏名印
親類 氏名印

(戸長奥印前ニ同ジ)

右 塚場所
戸長 氏名印

何區長宛

勾引状ノ式 (治罪法第百廿条同第百
廿一条已下ヲ参照ス可シ)

司法省丁第廿八号達 十二月十二日

勾引状

住所身合職業

(若シ姓名分明ラサルハ
容貌特徴等)

右云々ノ事件ニ付訊問ノ筋有之當裁判
所へ勾引ス可キ者也
但本人潜匿シ多時ハ家宅ヲ搜索ス可シ

明治 年 月

何裁判所

豫審判事 氏名印
書記 氏名印

印

勾引シタル被 告人ノ署名捺 印若シ能ハサ ルハ其事由	執行シタル 月日時	執行ノ手続 場所	家中搜索ヲ為 シタル片ハ其 由	勾引スルコト能 ハサル片ハ其 由	右之通取扱候也 明治 年 月 日 巡査長 氏名印 是ヲ中町シテ一葉ヲ交取人へ渡シ
-------------------------------------	--------------	-------------	-----------------------	------------------------	---

勾引状

右ノ事件ニ付訊問ノ節有當裁判所
ヘ勾引ス可キ者也
但本人潜匿シタル時ハ家宅ヲ搜索奇シ

明治 年月

裁判所

豫審判事 氏名印

書記 氏名印

勾引シタル被 告人ノ署名捺 印若シ能ハサ ルハ其事由	執行シタル 月日時	執行ノ場所	執行ノ子続 ハサハハ其 由	勾引スルヲ能 ハサハハ其 由	右ノ通取扱候也 明治 年月日 巡査長官 氏名印
-------------------------------------	--------------	-------	---------------------	----------------------	-------------------------------

公判ノ勾引状モ亦タ本文ノ式ニ準ス

但シ(豫審判事氏名)トアルヲ(判事氏名)ニ作ルナリ

違警罪事件ニ付其證人トシテ呼出スモ忘セザルキノ拘引状モ亦タ之レニ準ズ

但シ本文(右云々ノ事件ニ付)ノ下文ヲ(證人トシテ再度呼出スモ出頭セザルニ付)ト作ルナリ己下同シ(洛罪法第百七十三條同第百九十二條)

勾留状ノ式(洛罪法第百十六條同第百十三條已下ヲ参照ス可シ)

司法省下第卅八号建十四年十二月十二日

勾留状

住所身合職業
氏名
若し氏名分明ナラサル時ハ
容貌体格等

右ノ事件ニ付治罪法第百二十六条ノ規則ニ従ヒ
監倉へ勾留ス可キモ也
但本人潛匿シタル時ハ家宅ヲ搜索ス可シ

明治 年 月
何裁判所
豫審判事
書記

氏名印
氏名印
氏名印

勾留シタル後 告人ノ署名捺 印若シ能ハサ ルハ其理由	執行シタル 月日時	執行シタル 場所	執行ノ手續 被留人ニ送付シ テ其手帳ニ捺印 シタルハ其 理由	勾留スルニ能 ハサルハ其 理由	事由

右之通取扱候也
明治 年 月 日
巡查又ハ憲兵
氏名印

前ニ同シ

勾留状

住所身合職業
氏名
若し氏名分明ナラサル時ハ
容貌体格等

右ノ事件ニ付治罪法第百二十六条ノ規則ニ従ヒ何所監倉へ勾留ス可キモノ也
但本人潛匿シタル時ハ家宅ヲ搜索ス可シ

明治 年 月
何裁判所
豫審判事
書記

氏名印
氏名印
氏名印

勾留シタル後 告人ノ署名捺 印若シ能ハサ ルハ其理由	執行シタル 月日時	執行シタル 場所	執行ノ手續 被留人ニ送付シ テ其手帳ニ捺印 シタルハ其 理由	勾留スルニ能 ハサルハ其 理由	事由

右之通取扱候也
明治 年 月 日
巡查又ハ憲兵
氏名印

第十五條

被告人

所在ノ地ノ豫審判
事直ニニ告訴告發
ヲ受ケタルカ又ハ
檢事ヨリ其送致ヲ
受タル被告事件急
速ヲ要スル片ハ通
常ノ規則ニ從ヒ被
告人訊問又ハ檢證
處分ヲ為シタル後

○藝娼妓出稼御願

住所身分

氏名

幾女
姉妹
たれ
何年何ヶ月

右之者從來私方ニテ營業罷在候処
今般何縣下何郡何所何番地何某方
へ本月ヨリ来ル何年何月迄何ヶ月
ノ間出稼為致度此段奉願上候也

住所身分

證據及ヒ事實參考

年月日

氏名印

ト為ル可キ事物ヲ
犯罪ノ地ノ豫審判

何郡長宛

事ニ送致シ若クハ勾留狀ヲ以テ被告人ヲモ送致ス其手續キハ左ニ
(治罪法第百十六條)

送致書式

送致書

何縣何國何郡何村何番地
何縣何國何郡何村何番地
職業身分何某カ何々ノ罪ヲ犯セシヲ抽出者ニ告發シ(或ハ何々ノ罪ヲ犯

セシテテ告知告発セシテ以テ其事件急速ヲ要スルニ付ノ訊問
テ檢事氏名ヨリ送致ヲ受ケル檢事ヲ為シタル上別紙目錄ノ通證憑(参考ト為ル可キ事物)及
送致候也

明治何年月日何裁判所ニ於テ

豫審判事 氏名 印

某裁判所

豫審判事氏名殿

被告人禁錮以上ノ刑ニ該ル可キ者ト思科シタル片ハ
何府縣何國云々已下被告人ノ訊問或ハ檢査處分ヲ為シタルトア
ルヨリ下文ヲ禁錮以上ノ刑ニ該ル可キモノト思科候條別紙目錄

ノ證憑 相添勾留状(勾留状ハ前ニ同シ)ヲ以テ被告人何
事實参考ト為ル可キ事物
某及送致候也

明治年月日

何々裁判所

豫審判事 氏名 印

某裁判所

豫審判事御中

別紙目錄ノ式

目錄

- 一 何々ノ書面 何通
- 一 何々ノ物品 何点

一何々

右之通ニ候也

第十六條

召喚状

ヲ受ク可キ被告人
其管轄地外ニアル
キハ豫審判事ヨリ
左ノ手続キヲ為シ
訊問ス可キ件々ヲ
明記シテ被告人所

何箇

○轉居御鑑札書換御願

一私儀何商之者ニ候所今般何
町何番地へ轉居仕候ニ付テハ御鑑
札御書換被下度仍テ右御鑑札差上
此段奉願上候也

住所身分

年月日

氏名印
氏名印
戸長 氏名印

在ノ地ノ豫審判事

ニ其處分ヲ囑託ス

スルヲ得

(治罪法第
百十九條)

囑託書ノ式

囑託書

轉居地

戸長

氏名印

何郡長宛

住所身分職業何某ハ何々ノ罪ヲ犯セシ旨住所身分職業氏名ノ告
発ヲ受ケタルニ依リ召喚ノ上訊問及フ可クノ処同人ハ其御管内
住居ノ者ニ付貴官ニ於テ左ノ條件御訊問有之度候

一何々ノ件

右之通託候條御取調ノ上其調書御差廻シ有之度候也

明治 年月 日

何々裁判所

豫審判事

氏名 印

某裁判所

豫審判事氏名殿

第十七條 民事原

告人棄權ノ申立ヲ
為シタルカ又ハ被
告人ノ承諾ヲ得テ
願下ノ書面ヲ差出

○止業御願

一私儀願濟何々職之者ニ候処此度
上業仕度依テ御鑑札返上仕候此段
御許可奉願候也

レタル片其事件告

訴ヲ待テ受理ス可

キ者ナル片ハ件數

録ニ其旨ヲ登記シ

一件消滅ノ手頃ヲ

為シ某旨ヲ檢事及

ヒ被告人ニ通知ス

第十八條 第十四

條ノ令狀ヲ受ケタ

年月日

住所身分

氏名 印

取締 氏名 印

戸長 氏名 印

何區郡長宛

○支店分家願

一私從來何商ノ者ニ候処今般都合

ニ寄リ幾男或何某ヲシテ何區郡何町

何番地(同業開店)仕度候依テ御鑑

ル巡査又ハ憲兵勾引ヲ為シタル被告

人ヲ豫審判事ニ引致ス

年月日

住所身分

氏名印

致ス

戸長

氏名印

(治罪法第百廿二条)

何郡長宛

若シ執行スルヲ能ハサル片ハ治罪法第百三十八條ニ從ヒ其手順ヲ為シ書記ハ左ノ受取証ヲ渡ス

書記ハ前二項ノ事由ヲ各人名録ニ左ノ如ク記入ス

取証ヲ渡ス

書記ハ前二項ノ事由ヲ各人名録ニ左ノ如ク記入ス

受取書ノ式

受取証書

一 何某勾引状(又ハ拘留状)

正本一通若シ執行スルヲ能ハサル片ハ正副本二通ト記ス

一 家宅搜索調書

一通

一 監倉長ノ受取証書

一通

右巡査又憲兵氏名ヨリ受取候也

明治 年 月 日

何裁判所

書記

氏名

印

各人名録ノ式
勾引人名録ノ式

表紙

年号月日

勾引人名録

氏判事

氏書記

記載例

番号 住所身分職業

判事印

書記印

氏名

右明治年月日時何通ヲ發ス

巡查又ハ憲兵印

年月日時勾引ス又ハ能ハス勾引スル

勾留人名録式

表紙

年号月日

勾留人名録

氏判事

氏書記

記載例

番号 住所身分職業

判事印

書記印

氏名

右年月日時何通ヲ發ス

巡查又ハ憲兵印

年月日時勾留ス(又ハ能ハス)

年月日取消ス(又ハ保釈ス
責付ス)

收監人名錄式

年号月日

表紙

收監人名錄

氏判事

氏書記

記載例

住所身分職業

氏名

判事印

書記印

右年月日時何通ヲ發ス

巡查又ハ憲兵 (印)

年月日收監ス (又ハ收監スル能)

年月日取消ス

已下前ニ同

第十九條 巡查又

ハ憲兵令狀執行ノ命ヲ受ケ被告人ノ家宅若クハ他人ノ家宅ニ潜匿シタリト思料シタルキハ其地ノ戸長又其差支アルキハ隣佑ニ名以上ノ立會ヲ求メ之レヲ搜索シ被

○藥舖分家開店御願

住所身分

氏名

長次三男
弟雇人

何ノ誰
何年何ケ月

一私義從來藥舖商ノ者ニ候處此度長次三男何ノ誰何區何村何番地ニ於テ同業開店為致度尤豫テ御達之通理化藥物調劑學及算術等御試驗

告人ヲ發見又ハ發ノ上免許鑑札御下渡被下度此段奉

願候也

年月日

出願人 氏名印

開業人 氏名印

戸長 氏名印

何府長官宛

(治罪法第百三十三条)

會人ト共ニ署名捺印ス但搜索ハ日出何日没後ノ禁ス

搜索調書ノ式

搜索調書

何裁判所豫審判事ヨリ住所身分職業氏名ニ對シテ発シタル勾引状
(又ハ勾) 執行ノ命ヲ受ケ本職ハ何某ノ家ニ就キ其妻某ニ本人ノ在
 否ヲ尋問シタル処不在ノ旨答フルト虽モ何某ハ家内ニ(或ハ隣家)
 潜匿シタリト思料スルニ付戸長氏名ノ立會ヲ以テ室内ヲ搜索シ
 遂ニ押入内ニ於本人ヲ發見シタルニ付式ニ依リ本條ノ謄本ヲ下
 付シ茲ニ調書ヲ作り立會人ト共ニ署名捺印シタリ

明治年月日何所ニ於テ

巡査又ハ 氏名 印
 戸長 氏名 印
 若シ戸長差支アルハ本文調書中ニ戸長立會ノ上搜索ス可キノ

處戸長ハ差支アルニ依リ隣人甲何某乙何某ノ立會ヲ求メ云々ト
 作ルナリ

第二十條 被告人

他ノ管轄地内ニ潜
 匿シタルヲ知リ
 タルカ又ハ潜匿シ
 タリト思料シタル
 場合ニ於テ被告事
 件急速ヲ要スルハ

○賣藥檢査御願

一何 水丸散
 丹膏湯
 壹劑ノ量何程
 何々何程 何々何程
 何々何程
 總テ分量ハ凡刀刀写ト認ムベシ

ハ巡查ニ令状ヲ帶 主治功能詳細ニ記スベシ

行セシムル一アリ 右ハ此度新ニ調製發賣仕度候間御

又他管ノ巡查其帶 檢査ノ上御差支モ無御座候ハ、免

行スル所ノ令状ヲ 示シ執行ヲ求ムル 許鑑札御下渡被下度因テ製劑相添

片豫審判事ハ其管 此段奉願候也

轄ノ巡查ヲシテ令 狀帶行ノ巡查ト同

年月日 住所身分 氏名印

行シテ執行ヲ求ム 戸長 氏名印

(治罪法第百 何府 長官宛)

三十四条)

第廿一條

豫審判事ハ被告人所存ノ地ヲ究知スルヲ能ハサルハ

左ノ人相書ヲ以テ各控訴裁判所檢事長ニ被告人ノ捜査及ヒ逮捕ノ

請求ヲ為ス (治罪法第百 三十五條)

人相書ヲ以テ檢事へ

照會スル書式

照會書

住所身分職業氏名儀何年何月何日某所身分職業氏名方へ忍ビ入

金品竊取シタル旨檢事ヨリ起訴相成候久右被告人其俟逃走シ所

在更ニ相知レザルニ付捜査及ヒ逮捕ノ儀可然御取計有之度別紙

人相書相添此段及御照會候也

明治何年何月何日

何々裁判所

豫審判事

氏名 印

某控訴裁判

換事長何某殿

人相書ノ式

人相書

住所身分職業 住所身分職業 知レサルハ之ヲ除ク

氏名

一年齡何年何ヶ月

一丈高キ方

一顔長キ方

一色白キ方

一鼻高キ方

一髮黒キ方 散髮又ハ 結髮

一眉細キ方

一額廣キ方

一眼大ニシテ何色勝チ

一口大ナル方

一耳大ナル方

一齒細カキ方

一音声高キ方

一痘痕ナシ

一疵所ナシ

一鬚鬚ナシ

一父母妻子

一長所 何々

一逃走ノ際着服何々

一逃走ノ際携帶セシ品何々

右之通二候也

○賣藥改正御願

第廿二條

勾引状

一方名

ヲ發シタル前被告

藥品分量

製法

人既ニ豫審判事ノ

用法服量

功能

管轄地外ニ在リテ

被告人ヨリ其所在

右ハ何年月日御檢査濟鑑札御下渡

ノ地ノ豫審判事ノ

營業仕候処今般何々ノ廉左ノ通改

取調ヲ求メタル氏

正仕度御差支無之候ハ、鑑札御書

ハ之レヲ受ケタル

替被下度此段奉願候也

豫審判事ハ假ニ被

告人ヲ勾留シ速ニ
勾引状ヲ發シタル
豫審判事ニ其旨ヲ
通知スルハ左ノ手
続キヲ以テス

(治罪法第百
二十三條)

但シ勾留スル手續キハ前ノ勾留手続書式ニ同シ

改正ノ廉ヲ詳細ニ記スベシ

年月日

住所身分

氏名印

戸長

氏名印

何府長官宛

通知書之式

通知書

住所身分職業氏名儀何々ノ事件取調ノ為ノ勾引状發セラレタル
趣ニ候処同人ハ右令状御發前已ニ當管下へ移住致居候ニ付當廳
ニ於テ取調ヲ受度旨頼出ルニ付キ假ニ勾留致置候條此段及御通
知候也

明治何年何月何日

何々裁判所

豫審判事

氏名

印

某裁判所

豫審判事何某殿

又前條ノ場合ニ於テ通知ヲ受ケタル豫審判事ハ被告人ヲ勾留シ

タル豫審判事ニ訊問ノ件々明示シテ其處分ヲ囑託スルキハ左ノ
手續キヲ為ス(右罪法第百二十四條)

囑託書ノ式

囑託書

住所身分職業氏名何々ノ事件取調ノ儀ニ付拘引状相發候処已ニ
其御管下ニ移轉致居貴官ニ於テ御取調ヲ受度旨頼出候趣ヲ以テ
假ニ勾留相成タル由御通知ニ依リ承知致シ候就テハ左ノ條件御
訊問相成度候
一何々事件

一何々ノ事

一何々

右及囑託候條御取調ノ上其調書御送致有之度候也

或ハ右ノ囑託ヲ為サスレテ前ニ発シタル拘引状ヲ以テ被告人ヲ送致ス可キヲ求ムル片ハ左ノ手續キ為ス

住所身分職業氏名儀何々ノ事件取調フ可キ筋有之拘引状相發候
処右ハ既ニ其御管下ニ移轉致居リ貴官ノ取調ヲ受ケ度段出願候
趣御通知有之致承知候然ル処右ハ拙者ニ於テ取調度候條該拘引
状ヲ以テ本人御送致有之度此段及御照會候也

明治何年何月何日

何々裁判所

豫審判事 氏名 印

某裁判所

豫審判事何某殿

言渡ノ式

言渡書

住所身分職業氏名儀何々事件ニ付何裁判所豫審判事ヨリ勾引状
ヲ發シタル処其以前被告人氏名ハ既ニ當裁判所ノ管内ニ在ルヲ
以テ其取調ヲ願出ルニ依リ假ニ勾留シタル上何裁判所豫審判事

ノ囑託ニ依リ訊問ヲ遂ゲタル処何々ニ付治罪法第十一條項ニ依
リ免許ヲ言渡スモノ也

明治何年何月何日

何々裁判所

豫審判事

氏名

印

第廿三條 豫審判

事ハ召喚状又タハ
勾引状ヲ受ケタル
被告人疾病其他正
當ノ事由アリテ令

○賣藥請賣御願

一方名何丸
一方名何散

状ニ應スル能ハザ

ルヲ證明シタル

キハ被告人ノ所在

ニ就テ之レヲ訊問

スルヲ得若シ被

告人他ノ管轄ニ在

ル片ハ其所在ノ地

ノ豫審判事ニ訊問

ノ事ヲ囑託スル場

合ニ於テハ左ノ手

一方名何水

一方名何丹

一方名何錠

右營業人

何府何國何郡何町
何縣何區何村
何番地

氏名

（但營業人異ナレバ縦令一方タリ
凡必ズ各營業者ノ住所身分氏名

続キヲ為ス

(治罪法第百二十五条)

豫審判事被告人ノ所在ニ就テ訊問スルハ必ス書記ノ立會ニテ調書ヲ作ルナリ

(治罪法第(二十七条)

ヲ上ノ例ニ倣ヒ之レヲ區別シ書記スベシ)

右ノ賣藥幾方今般請賣仕度依テ別紙營業者へ御免許ノ御指令并約定書相添此段奉願候也

年月日

住所身分

氏名 氏名 戸長 氏名 何縣長官宛 印 印

訊問ノヲ嘱託スル書式

嘱託書

住所身分職業氏名儀何々事件ニ付召喚ニ及ビタル處或ハ拘引ヲ命シ病氣或ハ正當ノ事由ニ付令状ニ應スル能ハス然ルニ被告人ノ所在其御管内ニ有之候間貴官ニ於テ被告人ノ所在ニ就キ何々ノ事件御訊問ノ上本人調書御指廻シ有之度此段及嘱託候也

明治何年 月 日

何裁判所

豫審判事

氏名

印

某裁判所

豫審判事氏名殿

第廿四條 勾留状

ヲ發スベキ場合ハ

左ニ示ス

(治罪法第百二十六條)

一 被告人逃亡スル

ノ恐レアルトキ

二 被告人ヲ訊問シ

タル後禁錮以上ノ

刑ニ該ル可キ者ト

思料シタルトキ

○賣藥營業鑑札讓渡御願

一方名何々

藥品分量

住所身分
營業人 氏名 印

製法

用法服量

功能

但シ賣藥數種アルキハ上ノ例ニ
從フテ連書スヘシ

右ハ何年月御檢査濟鑑札御下營業

若シ勾留日數十日
ヲ過クルキハ豫審
手續キヲ檢事ニ通
知シ且意見ヲ聽キ
タル上ニテ左ノ如
ク收監状ニ換ヘ其
人名等ハ收監人名
録ニ記ス

仕候處今般何縣族籍何誰ヘ示談ノ
上讓渡申度依之所持ノ鑑札返納仕
候間御書替被下度此段奉願候也

年月日

住所身分	賣藥鑑札主	住所身分	右讓受主	鑑札主所在	讓受人所在
氏名 印	氏名 印	氏名 印	氏名 印	氏名 印	氏名 印

但シ讓受人ノ管轄廳ニ差出鑑札
主ノ管轄廳ヘハ其旨ヲ届出ベシ

地方長官宛

收監状ノ式(治罪法第二百二十七條)

司法省丁第二十八号明治十四年

十二月十二日達

收監状

位所身分職業

○姓名 ○年齢 ○性別 ○籍貫 ○職業 ○地位 ○住所 ○備考

(附シ姓名會同ケラセ
ルハ密書見録格等)

右ノ事件ニ付取調ヲ為シタル本罪刑法
第何条ニ該ル可キ者ト思料ス依テ檢査ノ
意見ヲ聽キ何所監査(收監)ス可キ者也
但本人潛匿シタル時ハ家宅ヲ搜索ス可シ

明治 年 月

何裁判所
日時
所印

何裁判所

豫審判事

氏名印

書記

氏名印

收監シタル被 告人ノ署名捺 印シテハ其 片ハ其案由 執行シタル 月日時	執行シタル 場所	執行ノ手續 檢査人ニ取 調ヲ承テ應 答シテ下付ス ルシタル片ハ其 案由	收監スル丁能 ハアナル片ハ其 案由	右之通取換候也 明治 年 月 日時 巡査長官宛 氏名印
--	-------------	--	-------------------------	--------------------------------------

富后

一采ヲ書記局ヘ運納スベシ

檢印官印

收監狀

住所身分職業

○ 森邊署等。○ 森邊署等。○ 再認再知宜 氏名

(附シ或各分明ナラバ
ハ其ハ若見付等)

右条ノ事件ニ付取調ヲ為シタル及本罪刑法
第何条ニ該ル可キ者ト思科ス依テ檢事ノ
意見ヲ聽キ何所監倉ニ收監ス可キ者也
但本人階位シタル時、家室ヲ捜索ス可シ

明治 年月

何裁判所
日時
所印

豫審判事 氏名印
書記 氏名印

收監シタル被 告人ノ署名捺 印若シ能ハサ ルハ其案由	執行シタル 月日時	執行シタル 場所	執行ノ手続 家宅捜索ヲ為 シタルハ其 由	收監スルニ能 ハザルハ其 理由	右之通取扱候也
					明治 年月日時 巡査六憲兵 氏名印

被告人責付スルキハ左ノ受書ヲ其親屬故舊ヨリ出サシム又檢事ノ
請求ニ依リテハ更ニ十箇句留スルヲアリ (拾罪法第百二十七条
同第百二十七条)

受書之式

受書

住所身分職業氏名儀御審問中自分ヘ責付相成候ニ付テハ本人御
呼出ノ節ハ何時ニテモ出庭致サセ可申候依テ此段御受仕候也

何某父(或ハ兄弟等)或ハ故舊

住所身分職業

年号 月 日

何裁判所

豫審判事何某啟

氏名

自署

第廿五條

陸海軍

在營ノ軍人軍属ニ
對シ令状ヲ發スル
并ハ其所屬長官ニ
令状ヲ示シ執行又
ハ送達ヲ為ス
長官ハ已ムヲ得ザ

賣藥營業満期書換御願

住所身分

營業人 氏名

一方名

藥品量
製法

ル差支アルニ非サ

レバ本人ラシテ速

ニ令状ニ應ゼシム

其行軍ノ際ト虽モ

亦同シ

(治罪法第百卅六条)

令状ハ巡查又ハ憲

兵若クハ使丁ナシ

テ帶行セシム

(令状書或ハ明治十四年十二月司)

用法服量

功 能

但シ藥方數種アルキハ上ノ例ニ從
テ一々連書スヘシ

右ハ何年月日御検査濟鑑札御下渡

營業仕候處來ル何月期明相成猶引

續營業仕度別紙鑑札幾枚返納仕候

間御詮議ノ上御差支無之候ハ、御

書替被下度此段奉願候也

法省丁第(二十) 八号達ニ依ル

第九六條 勾引状

勾留状収監状ハ日本全國ニ於テ之ヲ執行ス但時宜ニ依リ正本數通ヲ作り 巡查又ハ憲兵數人ニ分付スルヲアリ 前項ノ令状ヲ執行スルニハ被告人ニ

年月日

願人 氏名印

何府長官宛

○賣藥營業鑑札ハ賣藥請賣

鑑札遺失ニ付書替御願

住所身分

氏名

一方名

賣藥營業人

氏名

賣藥請賣鑑札ナレバ左ノ通認ム

正本ヲ示シ其謄本

ヲ下付ス此場合於

テハ治罪法第二十

三條第二項及ヒ第

四項ノ規則ニ從フ

(治罪法第 百卅二条)

第七七條 勾留状

又ハ收監状ヲ受ク

可キ被告人既ニ監

倉若クハ獄舎ニ在

ベシ

一方名

住所身分

營業人 氏名

住所身分

右請賣人 氏名

右ハ何年月(確ト記憶セサレバ)御下

渡被下候(賣藥營業鑑札)何月日何々

ノ事故ニテ(遺失)仕候間更ニ御下渡

被下度此段奉願候也

ル片ハ書記ヨリ之ヲ本人ニ送達シ其旨ヲ正本及ビ謄本ニ記載ス

(治罪法第百卅九条)

第廿八條 宿室監禁ノ場合ヲ除クノ外被告人ハ監獄則ニ徒ヒ官吏ノ立會ニ依リ其親屬故舊

ニ依リ其親屬故舊ニ依リ其親屬故舊ニ依リ其親屬故舊

年月日

住所身分 氏名印
願人 氏名印
戸長 氏名印

何府縣長官宛

○賣藥請賣約定書

一方名

營業人一人ニレテ五方迄ハ一通ニ認ム可シ

又ハ代言人ニ接見スルヲ得

又被告人ト外人ト

書翰或ハ書籍其他

ノ書類ヲ授受セシ

トヲ願出ル片ハ訣

書類ヲ願書ニ添ヘ

書記局ニ差出サシ

ム

豫審判事ハ書類ニ

右ハ何某ノ官許ヲ得タル賣藥ニシ

テ今般何某請賣可致示談相整ヒ候

ニ付請賣者ニ於テ請賣鑑札ヲ願受

テ營業ノ製調シタル賣藥ヲ取次販

賣致スベシ然ル上ハ營業者鑑札免

許期限内ハ總テ賣藥ニ関スル御規

則及ヒ御達ノ赴旨ヲ確守シ不正ノ

所業致ス間敷候依テ約定書如件

檢印シ書記ヲ經テ

願人ニ下付ス

若書類ヲ留置キタ

ル場合ニハ本件ノ

番号被告人ノ氏名

及ビ授受願人ノ氏

名ヲモ本札ニ記シ

之ヲ保存シ後チ下

付ス可キ時ニ至リ

被告人又ハ外人ニ

年月日

住所身分

賣業營業人

住所身分

賣業請賣人

地方長官宛

○牛馬賣買免許鑑札御願

一私儀今般牛馬商業仕度ニ付御鑑

札御下渡被下度尤御規則之通堅ク

下渡シ其受取証書

ヲ取ル

(治罪法第

百四十九條)

又ハ收監状ヲ取消

ス片ハ左ノ言渡フ

為ス書記ハ拘留又

ハ收監人名録ニ其

旨ヲ登記シ而シテ

監倉長ヘハ左ノ通

相守地方税金何程上納可仕此段奉

願候也

住所身分

氏名印

年月日

(宛前ニ同シ)

○耕牛雜市御願

一私儀農業ノ餘暇牛商人共ト相集

何區何村何番地何某宅ニ於テ毎月

幾日或ハ耕牛雜市仕度御布告ノ御

知ヲ為人

(治罪法第百四十一条)

趣意ハ屹度相守可申候間御許容奉

願候也

年月日

住所身分

顔人

氏名印

戸長

氏名印

(死前ニ同シ)

拘留状收監状ヲ取消ス言渡書ノ式

言渡書

住所身分職業氏名儀明治何年何月何日ノ令状ヲ以テ勾留(或ハ收

監)シ取訓タル處禁錮以上ノ刑ニ該ル可キ者ニ非スト思料スルニ付治罪法第百四十一条ニ依リ右勾留又ハ收監状ヲ取消スモノナリ

明治何年何月何日

何裁判所

豫審判事

氏名

印

書記

氏名

印

収監状取消ニハ本文(治罪法第百四十一条ニ依リ)ノ下(茲ニ檢事ノ意見ヲ聽キ)ノ十字ヲ加フ

監倉長ニ通知スル書ノ式(此通知書ハ便宜ニ依リ左ノ通知録ヲ以テス)

年号月日

保釋

表紙

責付

通知錄

令狀取消

氏判事

氏書記

記載何

住所身分職業

判事印

書記印

氏名

右勾留(収監)中ノ處本日勾留状

取消シ保釋差許シ(或ハ責付候

條此段及通知候也

氏監倉長殿

監倉長印

第三十條 監倉ニ

左ル被告人刑法及
ヒ治罪法ヲ見シ
テ願フモノハ其願
意ヲ聞届ケ監倉ニ
備置キノ法書ヲ之
レニ貸與ス

第二章

密室監禁

第三十一條 豫審

○車御檢印願
一私此度何々車新規所持致候間御
檢印被成下度奉願候以上

年月日
住所身分
氏名 印

郡區長宛

○車御檢印押換願

一私所持ノ何々車此度破損ニ付繕

年月日
住所身分
氏名 印

何郡區長宛

○車讓換御願

一私所持何々車此度何郡何町何番
地氏名へ讓換候間御帳簿御書換被

判事ハ豫審中事實
發見ノ為ノ必要ナ
リト思料シタルハ
ハ檢事ノ請求ニ因
リ又ハ職權ヲ以テ
勾留状若クハ收監
状ヲ受ケタル被告
人ヲ密室ニ監禁ス
ルノ言渡ヲ為ス
被告人ヲ密室ニ監

ヒ仕候ニ付テハ御檢印御押換被下
度此段奉願候以上

禁スル片ハ左ニ示
ス密室監禁録ニ被
告人住所氏名等ヲ
記シ書記ヲシテ言
渡書ヲ作ラシメ之
レヲ言渡シタル後
監倉長ニ其旨ヲ通
知スル等ノ手續キ
ハ順次左ニ示ス
(治罪法第百
四十三條)

下度此段連印ヲ以テ奉願候也

住所身分

讓渡主 氏名 印

全

讓請人 氏名 印

前町ノ 戸長 氏名 印

後町ノ 戸長 氏名 印

何區長宛

密室監禁録ノ式

明治年

表紙

密室監禁録

氏判事

氏書記

記載例

此檢印
ハ裁判所
長ハ報告
ノ證トシ
テ之ヲ受
ク

所檢長印

住所身分職業

氏名

一年月日言渡

一年月日訊問

一年月日何々ノ事由ニテ言渡ヲ更改スルヲ裁判所長へ報告ス

一年月日言渡ヲ更正ス

一年月日訊問

密室監禁言渡書ノ式

言渡書

住所身分職業氏名儀何々ノ事件ニ付令状ヲ以テ勾留(或ハ收監)シタル所事ヲ発見ノ為メ必要ナルヲ以テ治罪法第百四十三條ノ規則ニ從ヒ密室監禁ヲ命ズルモノ也

明治何年何月何日

某裁判所

豫審判事 氏名 印

書記 氏名 印

密室監禁ノ言渡ヲ更正スル其言渡書ノ式(治罪法第百四十五條)

言渡書

住所身分職業氏名儀何々ノ事件ニ付明治何年何月何日密室ニ監禁スルノ言渡ヲ為シタル処治罪第百四十五條ニ依リ更密室監禁ヲ命ズルモノ也

明治何年 月 日

何裁判所

豫審判事

氏名



書記

氏名



監倉長へ通知スル書式

通知書

住所身分職業氏名儀何々事件ニ付令状ヲ以テ勾留(或ハ收監)中ノ所本日密室監禁ノ言渡ニ及ヒ候條此般通知候也

明治何年何月 日

何裁判所

豫審判事

氏名



書記

氏名



何縣

監倉長何某殿

密室監禁ノ言渡ヲ更改スル中監倉長ニ通知スル書式

通知書

住所身分職業氏名儀何々事件ニ付明治何年何月日密室ニ監禁スル旨言渡置キタル処本日更ニ密室監禁言渡候條此段及御通知候也

明治何年月日

某裁判所

豫審判事

氏名

印

書記

氏名

印

何辯

監倉長氏名殿

第三十二條

密室

監禁ノ言渡ヲ受ケタル被告人ハ一名毎ニ之ヲ別室ニ置キ豫審判事ノ允許ヲ得ルニ非ラサレバ他人ト接見シ又ハ書類貨幣其他ノ物品ヲ授受スルヲ許サス

○車御檢印返納願

一私所持何々車破損仕候ニ付御檢印返納仕度即本車持参此段奉願候也

年月日

住所身分

戸長

氏名

印

何郡長宛

○漁船檢印御願

食物飲料菓餌其他
監倉ヨリ給スヘキ
物品ト虽庄監倉長
ノ持ニ指名シタル
モノヲシテ之レヲ
給與セシム
(治罪法第百
四十四条)
前一項ノ場合ニ於
テ被告人密室監禁
中外人ト接見シヌ

一漁船一艘

但シ長サ何間船體ノ大小ヲ記ス
右ハ私漁獵ノタメ相設ケ候船ニテ
今般新造致シ候間御檢印被成下度
尤御規則通堅ク相守候間此段奉願
候也

年月日

住所身分

氏名印

戸長 氏名印

ハ書類物件ヲ授受
スルコトヲ願出ルキ
ハ願書ニ通テ差出
サシメ書記ノシテ
許否ノ旨ヲ願書ノ
紙尾ニ記載セシム
其一通ヲ願人ニ下
付ス
被告人他人ト接見
スルノ手續キハ第

何郡長宛

○川舟御檢印御願

私儀今般何舟何名積一艘新規買
求候一付御檢印被成下度本御規則
通堅相守可申候間此段奉願候也
但五十石積以上ハ縣長宛ニテ其
應へ差出ス可シ
(年月日 其他全前)

二十八條ノ例ニ準ズ

第三十三條 密室

監禁八十日ヲ超過スヘカラス但十日毎ニ其言渡ヲ更改スル一ヲ得

言渡ヲ更改スル片ハ其事由ヲ裁判所長ニ報告ス

○海船檢印返上願

一私儀從來何舟所持罷在候處相損難用立候ニ付御檢印奉返上候也

年月日

住所身分

氏名 印

戸長 氏名 印

何郡長宛

○川船讓換御願

一私所持何々号何船何艘今般何郡

豫審判事八十日間

ニ少クトモ二度被告

告人ヲ訊問シ通常ノ規則ニ從ヒ調書ヲ作ル

(治罪法第百四十五條)

第三章 證據

第三十四條 法律

ニ於テハ被告事件ノ模様ニ因リ有罪

何郡何番地氏名へ讓渡候間御帳簿御書換被下度此段連印奉願候也

住所身分 讓渡人 氏名 印

年月日

住所身分

讓請人 氏名 印

(前) 戸長 氏名 印

(後) 戸長 氏名 印

何郡長宛

ナルノ推測ヲ定ム
ルナシ

被告人ノ白状官吏
ノ檢証調書証據物
件証人ノ陳述鑑定
人ノ申立其他諸般

ノ徵憑ハ裁判官ノ
判定ニ任ス
(治罪法第百
四十六條)

第三十五條 豫審

○船旗御届

何印

豎何尺何寸
巾何尺何寸

但何年月日ヨリ相用ヒ又ハ改正
候事

前書之通船旗章相用ヒ候間此段御
届仕候也

年月日

住所身分
何々社長 氏名印

判事ハ檢察官民事

原告人被告人ノ請
求ニ因リ又ハ職權

ヲ以テ事實發見ノ
為メ必要ナリトス

ル証據徵憑ヲ集取
ス

(治罪法第百
四十七條)

第三十六條 豫審
判事臨檢家宅搜索

新撰書式文様

但一人ニテ所有ノ分ハ何府縣下

何國何郡區町村

年月日
住所身分
氏名印

何府縣長宛

○出帆願書

第一號

一船何名
丸艦

物件差押又ハ被告
人証人ノ訊問ヲ為
スニ書記ノ立會ヲ
必要トス書記ハ調
書ヲ作り豫審判事
ト共ニ署名捺印ス
若シ急遽ノ際書記
ノ立會ヲ得ルヲ能
ハザル片ハ立會人
二名ヲ要ス但監倉

ニ就テ被告人ヲ訊
問スルキハ監倉ノ
官吏一名ヲシテ立
會ハシム
書記ノ立會ヲ得ル
ヲ能ハサル片ハ豫
審判事自カラ調書
ヲ作り之ヲ讀聞カ
セ立會人ト共ニ署
名捺印ス

一 船形 日本形

一 積高 何石

一 船主 何府縣下何
郡區何町村

乘組何人

積荷目錄之通

甲 船客何人

氏名

右ハ来何月幾日當港出帆何々港へ
趣度依之手數料幾許上納候間御免
狀御下渡奉願候也

何 艦船長
丸 船頭

年月日

氏名印

何々港

船御改所

前書之通檢査ノ上手數料取立出帆

書記又ハ立會人ナ

クシテ為シタル處

分ハ其効ナキモノ

トス

(治罪法第百四十八條)

第四章

被告人ノ訊問及ヒ

對質

第三十七條

豫審判事ハ先ツ被

差許候事

何府下

何港船改所

年月日

氏名

第二號

積荷目録ヲ冊子ニ綴リタル所

表紙圖

半紙

封紙

積荷目録

告人ヲ訊問ス但檢
證ヲ為シ又ハ證人

ヲ訊問スルニ付キ

急速ヲ要スルキハ

此限ニアラス

(治罪法第百四十九條)

被告人ニ對シ今狀

ヲ發スル手続キ第

ハ第一章ニ從フ

第三十八條 豫審

幾品ニテモ下ノ如ク認ムベシ

中ノ圖

覺

一品名 箇數 斤量

改所印 願人印

終ノ圖

右之通何ヶ港へ積廻申度
此段御届申上候也

年月日

何鑑九松長頭 氏名印

判事ハ書記ト共ニ 第三編

審廷ニ臨ミ被告人 (明治十年内務省甲第六号御布達)

ヲシテ其罪ヲ白状 (照準賣買品ニ限り必ス其代價

セシムル為メ恐赫 (記載ス可シ)

又ハ詐言ヲ用フル 積荷目録ノ式

ナク先ツ其氏名 覺

年齢身分職業住所 一品名 箇數

及ヒ出生ノ地等ヲ 改所印 願人印

間ヒ次テ被告事件 右之通何々港へ積廻シ申度此段御

ヲ訊問ス書記ハ其

其訊問及ヒ陳述ヲ 録取シ左ノ調書ヲ

届申上候也

作ル

年月日

何丸船頭

氏名印

(治罪法第百五十一 条同第百五十一 条)

何々港

船御改所宛

被告人調書ノ式

(治罪法第百十四条第百十六条第百十八 条第百廿二条第百廿四条ノ第二項第百 廿五条第百四十九条 第百五十一条)

被告人何某調書

明治何年何月何日豫審到事氏名ハ法廷ニ於テ書記氏名ノ立會ニ
テ何々ノ事件ノ被告人何某ヲ訊問スル左ノ如シ

問 其方ノ氏名年齢身分職業住所出生ノ地ハ如何

答 自分氏名ハ何々年齢ハ何年何月身分ハ華族士族 職業ハ何業
平民

住所ハ何所出生ノ地ハ何所ナリ

問 其方ハ何、

答 何々、

問 何々、

答 何々、

問 其方ハ前ニ罪ヲ犯シ裁判ヲ受ケタルコトアリヤ

答 曾テ罪ヲ犯シ裁判ヲ受ケタルコトナシ

問 此何品ハ其方ノ所持ナリヤ(証憑物件ヲ被告人ニ示シテ問フ
ナリ)

ナリ)

答 是レハ自分ノ所持品ニ相違ナシ

問 然ラハ此品ハ何々シタルモノナリヤ

答 云々

右被告人何某ニ讀聞カセタル所其陳述ニ毫モ相違之レナキ旨申
立ツ依テ左ニ署名捺印セシム

被告人 氏名 (印)

被告人其陳述ヲ變更増減ス可キコトヲ申立タルキハ

右被告人氏名ニ讀聞カセタル所其陳述ヲ變更増減ス可キヲ申立タリ

問 何々、
答 何々、
問 何々、
答 何々、
右被告人氏名ニ讀聞カセタル所其陳述ノ毫モ相違ナキ旨ヲ申立テ左ニ署名捺印ス

被告人署名捺印スルヲ能ハサルハ

右被告人氏名ニ讀聞カセタル所其陳述ノ毫モ相違ナキ旨ヲ甘拱ス但何々ニ付署名捺印スルヲ能ハサル旨申立タリ(或ハ何々ニ付署名捺印)スルヲ能ハサル旨申立テ左ニ署名(捺印)ス

被告人 氏名
被告人 (印)

右ハ治罪法第百五十一條ノ式ニ依リ本官等左ニ署名捺印スルモ

明治何年何月何日 何裁判所

豫審列事 氏名 (印)
書記 氏名 (印)

公廷ニ於テ重罪ヲ犯シタル者アルハ被告
人調書ハ此書式ニ準
ス但(豫審判事)ヲ(列事
ニ作リ又右被告人氏
名ニ讀聞カセタル所
其陳述ノ毫モ相違ナ
キ旨ヲ申立)ノ下文ヨ
リ(タリ依テ本官等氏
名ト共ニ左ニ署名捺

○入港願

一船名 何艦丸
船形 日本形 西洋形
積高 何石噸
船主 何縣下住所身分氏名
來組 何人
積荷 目錄ノ通

印スルモノナリト記

ス(判事書記及ヒ被告
人共ニ署名捺印ス
可)尤モ治罪法第百
五十一條ノ或ニ
徒ヒ云々ハ記
スルニ及ハス

第三十九條 前條

ノ場合ニ於テ被告
人又ハ對質人(譯耳
ナル片ハ書面ヲ以
テ問ヒ)ニハ

船客 何人

右ハ去何月日何々港出帆今何月日
當港着船仕候ニ付船稅御鑑札何々
港御免狀并ニ積荷目錄相添手數料
幾何碇泊稅幾何上納仕候間荷物陸
揚御免狀御願候也

何艦丸船頭長

年月日

氏名印

書面ヲ以テ答ヘシム若シ文字ヲ知ラサル片ハ左ノ呼出状ヲ以テ通知トナル可キ者ヲ呼出シ通事ヲ命ス其命令書或ハ順次左ニ示ス

被告人又ハ對質人國語ニ通ゼサル時

何港

船御改所

前書之通檢査ノ上手敷料並碇泊税取立荷物陸揚差許候事

何驛下何國

何港船改所

年月日

氏名印

○碇泊願書

亦同シ

(治罪法第百五十六條)

通事ノ呼出ニ應ゼサル片ハ罰金ヲ言渡ヌ手續キハ勾引状ヲ除クノ外第五十七條ニ從フ其旅費給料等ハ第七十一條ニ從ツテ給與

(前文云々前ノ例ニ倣フ)

右ハ去何月日何港出帆何々港へ可赴積ノ処今何月日難風ニ逢當港へ碇泊勝手合ニ付荷物陸揚仕度依之何港御免状並積荷目錄相添手敷料幾何碇泊税幾何上納仕候間荷物陸揚御免状奉願候也

何艦船長頭

新撰書式文様

ス
(治罪法第
二百条)

年月日

何港

船御改所

氏名印

呼出状ノ式 (十四年司法省
丁第二十八号達)

用紙美濃ノ類

輸郭寸法 立七寸五分
横五寸四分

呼出状

此呼出状ハ出頭ノ節
書記局ニ差出ス可シ

住所及分職業

氏名

證人

氏名

右云々ノ事件ニ付鑑定人トシテ相尋ル
儀有之末ル何月何日何時何所ニ出頭可
致者也

但同日時出頭セザルニ於ハ罰金ヲ言
渡レ且勾引状ヲ発スルヲアテ可シ

明治 年 月

何裁判所
所ノ印

何裁判所

豫審判事 氏名印
書記 氏名印

受取人ノ署名
捺印若シ能ハ
ナルハ其軍
由

送達シタル
月日時

送達シタル
場所

親屬雇人若ク
ハ戸長ニ渡シ
タル時ハ其事
由

右之通取扱候也
明治 年月
使丁 氏名印

新撰書式文様

呼出状

呼出状

此呼出状ハ出頭ノ節
書記局ニ差出ス可シ

住所身分職業

證人 氏名

右云々ノ事件并鑑定人トシテ相尋ル

儀有之来ル何月何日何所ニ出頭可

致者也

但同日時出頭セサルニ於ハ罰金ヲ言

渡シ且勾引状ヲ発スルヲアル可シ

明治 年 月

何裁判所ノ印

豫審判事 氏名印

書記 氏名印

受取人ノ署名
捺印若シ能ハ
サル片ハ其車

送達シタル
月日時

送達シタル
場所

執屬雇人若シ
ハ戸長ニ渡シ
タル時ハ其車

由

右之通取扱候也

明治 年 月 日

使丁 氏名印

通事命令書ノ式(或ハ鑑定命令書)(治罪法第百五十七條同第
ノ式モ亦之ニ準)(百八十九條同百九十三條)

通事命令書

住所身分職業氏名何府縣何國何郡何區何町村何番地氏名ノ何々

事件ニ付何々ノ鑑定ヲ命レ候條正実ニ通事(或ハ鑑定)ス可キ者也

明治何年何月何日

其裁判所

豫審判事

氏名印

書記

氏名印

鑑定人氏名ハ治罪法第百九十三條ニ依リ宣誓ヲ為レタルニ付キ共

旨ヲ記載スル者也

明治何年 月 日

某裁判所

書記 氏名印

(公判ニ付テノ通事鑑定人命令書モ亦之レニ準ス但シ豫審判事トアル豫審ノ二字ヲ除クヘシ)

第四十條

通事ニ

ハ左ノ如ク正実ニ

通訳スベキノ宣誓

○碇泊願

其ニ

(船名以下前例ニ倣フベシ)

出入定日

ヲ為サシメタル上
ニテ通訳ヲ為シ共
調書ニ署名捺印セ
シム

(治罪法第百五十三
七条第百九十三
条)

被告人陳述書ノ騰

本ヲ求ムル片ハ書

記之ヲ騰寫シテ下

付ス

何月分碇泊税半高幾許何度分
何月分手敷料半高幾許何度分
右當何港ヨリ何港ノ間定日ノ通往
來仕候ニ付御規則ノ手敷料幾何碇
泊税幾何上納仕候間御免狀奉願上
候也

何丸船頭

氏名印

年月日

(治罪法第百五十三條)

何港
船御改所

宣誓書ノ式 (十四年司法省丁
第二十八号達)

宣誓書

何々ノ事件ニ付愛憎畏懼

ノ心ナク總テ正實ニ
總陳道
延達家

ス可キ事ヲ誓フ

明治年月日

通事
証人

第四十一條 豫審

判事ハ事實察見ノ

○船荷物送状ノ記

一何品 何十個

為ノ必要ナリトス
ル氏ハ被告人ト他
ノ被告人証人又ハ
其他ノ者ト對質セ
シテ而シテ書記ハ
左ノ對質調書ヲ作
ル

(治罪法條百五十
四條同條百五十
五)

或ハ菰包 汝紙包
但荷物一箇ニ付何十貫目
右ハ今般飛脚船何丸へ(通運會社)へ
積送致輸送候間着港次第御點查ノ
上御領收可被下候也

何縣何國何郡何町

氏名印

年月日
何國何港何地
何某殿

被告人ト他ノ被告人証人等ヲ對質スル調書ノ式

甲被告人乙被告人及ビ証人某對質ノ調書

明治何年何月何日豫審判事氏名ハ公庭ニ於テ書記氏名ノ立會ヲ
以テ云々事件ノ甲被告人氏名ト該事件ノ証人氏名及ビ他ノ被告
人氏名ト對質セシムル丁左ノ如シ

証人某ニ問フ 何所ニ於テ何々ヲ為シタル者ハ此席ニ在ル被告
人何レナルヤ

答 甲被告人氏名ナリ

問 然ラバ其方何々ヲ為シタル者ハ此席ニ在ル被告人誰ナルヲ
知ルヤ

答 是レモ亦甲被告人何某ナリ

問 甲被告人氏名其方何所ニ於テ何々ヲ為シタルハ何某(證人ノ

氏名ナリ)ハ其所ニ在ラザリシヤ

答 如何ニモ氏名ハ其所ニアリヤ

問 乙被告人氏名ニ對シ其方甲被告人ハ如何シテ知ルモノナル

ヤ

答 何々、、、、、、、、、

問 何々、、、、、、、、、

答 云々、、、、、、、、、

又問 然ラバ何々ハ如何シテ之ヲ為シタルヤ

答 乙被告人面色ヲ變ジテ曰ク 何々、、、、、、、、、

右被告人何某証人氏名他ノ被告人某等ニ讀聞カセタル処各其陳述ノ毫モ相違ナキ旨申立テ依テ左ニ署名捺印セシム

甲被告人 氏名 (印)

乙被告人 氏名 (印)

証人 氏名 (印)

右ハ治罪法第百五十一條ノ式ヲ履行シ茲ニ本官等左ニ署名捺印スルモノナリ

明治何年何月何日

何裁判所

豫審判事 氏名 印
書 記 氏名 印
被告人証人等其陳述ヲ變更増減ス可キトテ申立タルハ又ハ此等ノ者署名捺印スルヲ能ハサルハ第三十八條ノ式ニ準ス

第四十二條 豫審

判事ハ事實発見ノ為ノ必要ナリトスルハ重罪輕罪ノ別所ニ臨ミ檢証ヲ為ス

○水先人試驗御願

一私儀從來水先人仕居候得共此度該免許狀申受度尤モ明治十一年十一月九日太政官第卅七号御達奉載

又檢事ノ請求アリタルハ如何ナル場合ト虽モ臨檢スルハ書記ノ立會ニテ家宅搜索物件差押又ハ其場所ニテ被告人証人ノ訊問ヲ為ス

仕候間御試驗被成下度此段奉願候也

年月日

住所身分

氏名 印

(内務卿宛ニシテ 府長官へ出ス)

○外國博覽會出品御願

一私儀何商之者ニ候処今般何商品何國博覽會へ出品仕度尤明治十二

治罪法第百五十八條同第百四十八條

第四十三條 檢証

調書ハ左ノ如ク書
記之レヲ作り豫審
判事ト共ニ署名捺
印ス

(治罪法第二十五
条同第二十六条
同第百四十六条
同第百五十九条)

年二月内務省甲第一號御達奉戴仕
候間此段奉願候也

年月日
住所身分
氏名印

戸長 氏名印

何府長官宛

檢証調書ノ式

檢証調書

住所身分職業氏名儀何所身分氏名方ニ寄留中共家内ニ於テ明治
年月日衣類何点銀時計壹個盗取ラレタリ右ハ氏名ノ同居人何某
ノ所為ナル可キ旨告訴シタル事件何年何月日時本官等檢証ノ為
メ何所氏名ノ家ニ到リ之レヲ視ルニ該家ハ表口ハ街道ニ接シ裏
口ハ川ニ面シ左右土塀ヲ以テ之レヲ境シ家内室ヲ分ツテ大小五
アリ而テ同居ノ氏名ハ入口ヨリ東ノ一室ニテ南面ノ前庭ニ對ス
ル則チ氏名ノ客間ナリ依テ某ノ居間ニ入り其所有ノ箆筭且押入
棚ノ模様ヲ檢スルニ別ニ性ム可キ事ナシト雖モ氏名ノ衣類及ヒ
時計ヲ盗マレタル以前即チ明治何年何月日時甲氏名乙氏名カ
全道ニテ他行ノ際甲氏名ハ箆筭ノ錠ヲオロシ其鍵ヲ持行タレハ

其算筒ノアクベキ理決シテ之レナキ筭ナルニ疑ハ既ニ明キ算筒ノ内ニ入レ置キアル衣類何点銀時計壹個共紛失シ裏口ノ戸ヲ開キタルノミナラス泥足ノ印跡各所ニ有之ヲ檢スルニ全ク裏口ヨリ入込ミタルモノト認ムル処又東ノ一室ニ續キ泥足ノ跡カスカニ有之ヲ見ルニ付更ニ其室エ入りタルニ同居ノ氏名ハ驚キタル状モナク静ニ敬禮ヲ為シタリ依テ紛失品取調ノ趣申聞ケタルニ氏名ハ身分所有ノ大カバン及ビ柳行李ヲ取出シ十分ニ檢査ヲ請ケ度旨申述フ依テ之ヲ檢スルニ一モ贓物ヲ発見セス故ニ猶室内ノ戸棚等吟味ヲ遂グルニ其右ノ隅ニ一ノ小サキ鍵ヲ見出シタリ依テ之ヲ乙氏名ニ示シ又甲氏名丙氏名ニ示シタルニ孰レモ何者

ノ所有ナルヲ知ラサル旨ヲ答フ然レモ之レヲ右ノ算筒ニ比合スルニ恰モ其開閉自由ナリ又臺所ニ就テ見レハ一筋ノ古手拭アリテ全ク之レ泥足ヲ拭ヒタルモノ、如ク泥土ヲ以テ汚シタルマ、紙屑籠ニ入レタルモノナリ之レヲ氏名ニ示シ何人ノ所有ナルヤヲ問フニ其時丙氏名傍ラニ在リテ顔色忽チ變ジ右ハ丙ノ品ニアラサル旨再三答フルト虽モ乙ハ之レヲ熱視シタル上全ク丙ノ所有品ニシテ曾テ乙ノ親屬某ヨリ丙ニ惠與シタルモノナリト答ヘタル右ノ次第ニ付キ之ヲ考フルニ丙ハ明治年月日時甲乙ノ不在ニ兼ジ他ヨリ盜賊ノ忍ビ入りタル体ニ仕成シ合鍵ヲ以テ甲ノ算筒ヲ開キ竊ニ衣類何点銀時計一個盜取リタルナラン然ルニ丙氏

名ハ他國ノ産ニシテ數日前始メテ此地ニ来リ未タ一ノ知人ナキ
モノナレバ贓物ヲ如何為シタルヤハ頗ル解シ難シ依乙ノ家内ニ
於テ発見シタル錠一個並ニ手拭ヲ扣收シ之レヲ一袋ニ入レ本官
等之ニ認印シ目錄ヲ作り書記其物件ヲ某裁判所書記局ニ遞送ス
ルモノナリ

明治何年何月日時何所ニ於テ此調書ヲ作り左ニ署名捺印ス但
出張先キニ係ルヲ以テ何裁判所ノ印ヲ用フルヲ能ハス

豫審判事 氏名 印

書記 氏名 印

又現行犯ニ付テノ檢証調書ノ式モ之ニ準ズ但治罪法第百一條ノ

場合ニ於テハ現行ノ重罪又ハ輕罪ナルヲ記載ス

(治罪法第百一條
同第百二條)

若シ裁判所外ニテ書記ノ立會ヲ得ルヲ能ハサルハ治罪法第百四
十八條第二項及ヒ第三項ノ規則ニ從フ

第四十四條 豫審

判事ハ臨檢場所

ニ於テ発見シタル

物件其出所及ヒ模

様ニ因リ被告人ノ

○貿易品賣込御届

一茶何万斤 何千函

但百斤ニ付金何程

此代金何千圓

人違ナキヲ又ハ犯
罪ノ摸様ヲ知ルニ
足ル可シト思料シ
タル時ハ之ヲ差押
ヘテ認印目錄ヲ作
リ書記ト共ニ署名
捺印シ監護遞送ハ
書記之レヲ擔任ス
(治罪法第百
百六十条)

一生糸 何千函
但壹斤ニ付金何程
此代金何千圓
右合金何万何千圓也
此五厘金何程
右之通何國何々商會何某へ賣込申
候間此段御届仕候也
住所身分

第四十五條 豫審

判事臨檢家宅搜索
物件差押ニ付一月
内ニ其処分ヲ終ラ
サルハハ場所ノ周
圍ヲ閉鎖シ又ハ看
守者ヲ置ク一アリ
(治罪法第百
六十一条)

年月日 氏名印
商社ナラバ社号ト頭取ノ姓
名ヲ記ス
税関役所御中
○貿易買取御届
記
何國何々商會何某之
一絹張編幅傘 何千ダス

ス可キ物件ヲ藏匿
スルノ疑ヒアル者
ノ住所ニ臨檢スル
トアリ

被告人又ハ物件ヲ
藏匿スル者住所ニ
在ラサル時ハ同居
ノ親屬若シ其アラ
サルハ戸長ノ立
會アルヲ要ス

但壹ダスニ付金何程
右金何百圓也

此五厘金何圓何拾錢

右之通買取候ニ付此段御届申上候
也

年月日

住所身分

氏名印

税関役所御中

(治罪法第百
六十二條)

治罪法第百三十三
條第三項ノ規則ハ
本條ニモ亦之レヲ
適用ス

總テ臨檢家宅搜索
ハ日出前日没後ヲ
禁ス

其家宅搜索ノ場合
ニ於テ豫審判事物

但シ賣込買取共幾品アリトモ
此書式ニ準ジニ通相認メ五厘
金持參ニテ貿易會所(則チ税関
役所ナリ)
ハ届出檢印ヲ受壹通ハ運上所
ヘ納ノ置一通ハ取置ナリ

○家私塾開業願

第一條

學校位置何縣管下何區

或何社又ハ何某居宅何學舎ト唱

件ヲ差押フルキハ

第四十四條ニ同シ

但シ目錄ノ謄本ヲ

各立會人ニ渡シ受

取書ヲ取ル

(治罪法第百)

六十四條)

第四十七條 被告

人ハ臨檢家宅搜索

ノ處分ニ立會ヒ又

ハ代人ヲシテ立會

第二條

學校費用概略何々

第三條

教員履歷

教員外國人ナレバ何國何某年齡
學科ノ免狀有無雇入方詳細可記
車

住所身分

氏名

何某 江何年何月ヨリ何年何月迄

何某 江何年何月ヨリ何年何月迄

何某 江何年何月ヨリ何年何月迄

第四條

教師給料

第五條

學科變則小學

教則何學ニテモ其教授スベキ目

ヲ記ス

塾則授業時間 午前何時ヨリ
午後何時マテ

休業ハ毎月日曜日其他一般大祭

日一月一日ヨリ十日迄十二月廿

ハシムルヲ得

若被告人勾留ヲ受

ケタルキハ自ラ立

會フヲ得ズ但豫

審判事本人ノ立會

ヲ必要ナリトスル

片ハ此ノ限ニ在ラ

ス

民事原告人及ヒ其

代人ハ前ニ記載シ

タル処分ニ立會フ
一ヲ得但豫審判事
其立會ノ為メ豫審
ヲ遊延スル一ヲ得
ス

(右罪法第百
六十三條)

第四十八條 豫審
判事ハ被告人物件
差押ノ処分ニ立會
ヒタルト否トヲ問

五日ヨリ三十一日迄

右ノ通開業仕度此段奉願候也

年月日

住所身分

右 塾教員 氏名印

私 塾教員 氏名印

戸長 氏名印

取學 氏名印

縣長官宛

○私立病院説立願

一 私立病院位置

何郡何村何番地へ新築式ハ何
某居宅ヲ借用シ何々病院ト稱
フ

一 院則

患者診察ノ手續入院費藥及ビ
診察料等ノ類詳細ニ記入ス

ハス其物件ヲ被告

人ニ示シ辨解ヲ為

サシメ其訊問及ヒ

陳述ハ之レヲ調書

ニ記載ス但其調書

式ハ第三十七條

第四十三條ニ準ズ

臨檢ノ場所ニテ証

人ノ陳述ヲ聽ク一

ヲ必要ナリトスル